（日四十月二年十九正大）（可認物便郵種三第）

新京日日新聞

夕刊

定價 一ヶ月 金一圓 / 郵稅 一ヶ月 金十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 社團法人新京日日新聞社 電話二〇〇・二三〇三
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷口喜二郎

滿洲國發行の新貨幣 全部が出揃ふ
紙幣發行總額一億九百萬圓 通貨の流通益す圓滑

滿洲國新貨幣は一日より發行する青銅貨を最後として全部出揃ふこととなつた、滿洲國貨幣法による通貨種類は百圓、十圓、五圓、一圓、五角各紙幣、一角、五分白銅貨、一分五厘青銅貨の九種であるが、新貨幣は發行以來滿洲國財政の基礎確立と中銀の信用鞏固を加ふるに從ひ、圓滑にその流通力を增加し、二十八日現在紙幣發行總額一億九百六十八萬圓に對し新國幣は五千六百卅萬、五一・三%を占め、本年五月二十日より發行せられたる一角、五分白銅貨の流通額も二十三萬五千七百圓に達して居る、中銀當局に於ては新貨幣全部の出揃つたのを期として、舊紙幣の回收に全力を注ぎ舊貨幣整理辨法に定めたる明年六月三十日迄に舊紙幣全部を引揚げ新貨幣を增發して全國通貨の統一に邁進することゝなつた、尚ほ二十八日現在新幣發行高、新舊紙幣內譯、準備高、國幣發行日を示せば左の如し

△發行高 一〇九、六六〇、三二〇圓
（內譯）
國幣 五六、三〇三、三三〇圓（五一・三%）
舊紙幣 五三、三五六、九九〇圓（四八・七%）
△準備高 七四、八四七、三四二圓（六八・三%）
△鑄貨發行高 二三五、七〇〇圓
△貨幣發行日
百圓紙幣（二、四、一〇）
十圓紙幣（一、一、一〇）
五圓紙幣（二、六、一）
一圓紙幣（一、一二、二〇）
五角紙幣（一、九、一〇）
一角白銅（二、五、二〇）
五分白銅（右同）
一分青銅（二、八、一）
五厘青銅（右同）
臨時紙幣（舊官銀號紙幣に捺印使用したもの一、七、一）

黑江の增水 漸次減少

（ハルビン卅一日發國通）最高率水時より約二十尺の增水に人心恟々たりし黑龍江の增水も二十八日より漸次減少しはじめ一丈餘りの水深となり懸念された洪水も今夏は辛じて免かれた、尙七月中旬浸水したる呼瑪及鷗浦の復舊は相當時日を要するであらう、被害は目下調査中である

中央統計 委員總會

（東京卅一日發國通）中央統計委員會は午前十時より總理官邸に於て總會を開き坂谷會長以下各委員出席、諮問第二十號昭和十年十月一日の國勢調查計畫準備の件及び諮問第二十一號國民所得調查法の件を附議し、特別委員會答申通り可決四時十五分散會した

七月下旬 十六港 外國貿易

（東京卅一日發國通）大藏省發表＝七月下旬十六港外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	六〇、三七〇
輸入	五〇、二〇八
合計	一一〇、六七八
出超	一〇、〇六二

五月以降累計入超 一六六、七七八
尙ほ七月下旬重要商品輸出入額左の如し（單位千圓）

輸出	綿絲	六四六
	生糸	一七、〇四二
	綿織物	一〇、六一二
	絹織物	一、六七四
輸入	棉花	二一、六八九

創立十周年を迎へる 滿洲銀行業績
栗田新京支店長語る

公稱資本金一千萬圓の大連に本店を、新京並に滿洲樞要都市に十五の支店を有し、陣容堂々滿洲內に金融網を張り、斷然好成績を擧げつつある滿洲銀行は本八月一日を以て創立十周年を迎へた、滿洲建國に伴ふ滿洲財界更生の此際同行の活躍は一般に頗る期待されて居る、新京同行支店栗田支配人を訪へば語る

本日は當行創立十周年に當ります、丁度十年前の本日即大正十二年八月一日、大連銀行、遼東銀行、滿洲商業銀行、奉天銀行、の四大地方銀行を併合して我滿洲銀行を創立したのであります滿洲否日本內地に於ても斯く多數の銀行を同時に併合した實例は無いのでありります、當時の財界實情より見て已不得に出でたりとは云へ關係當事者の慧眼と英斷とに對しては今更ながら敬服に堪へぬ、極めて多事なりし過去十年の間滿洲金融界に何等の不祥事件を起さなかつたと云ふ事も與つて大いに力あつたものと思ひます

當行も創立以來相當難關に立ち、誠實無配等迄斷行を餘儀無くして皆樣方にも大變御心配を掛けましたが皆樣の御後援と當行員一同の不斷の努力により無事に難關を突破し近來業績順調となり本年上半期即ち第二十期の決算に於ては預金三〇、四二四、三七八圓貸金三七、〇〇五、五八七圓に達し其の利益率は躍進二割六分强で創立以來の好成績を示したのであります

內の財界益々多事であり、滿洲自體の財界亦樂觀を許されぬ今日吾々金融業者の職責は一層重大なるを痛感致します。皆々樣の倍舊の御指導と御愛顧を切望する次第であります

▲職業紹介

無職ニシテ生活ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞働保護會

日本新聞記者 協會視察團 歡迎打合せ

八月二日午後二時國務院會議室で八日朝着京する日本新聞記者協會滿洲視察團の歡迎に關し諸般の準備につき打合せを行ふ

新京治安維持委員會
第二回委員會

新京治安維持委員會第二回委員會は卅一日午前九時より新京警備司令部で開催齋藤委員長、高嶋幹事長以下日滿各委員出席種々協議を行ひ十二時閉會した
尙ほ委員會では近く積極的活動を開始する筈である

江防艦隊の 黑龍江就役で
日滿ブロック經濟の完成促進

（東京卅一日發國通）滿洲國江防艦隊は廿九日黑龍江に進出し就役せる旨海軍省に入電あり其の結果黑龍江の自由航行が出來、滿洲物資を日本內地や北支に輸出出來、日滿ブロック經濟の完成上非常に有利となつた

新京財界概況（六）
商工會議所調查（昭和八年六月中）

砂糖、端午節も終りて農民の入市するもの激減せる爲め砂糖の賣行は極めて少く前月末より十錢方落低したるまゝ月末迄保合へり新京驛到着數量は三一四キロトンにして前月より三五キロトンを增し前年同月に一一〇キロトンの增加なり

會社名 商標	上旬	中旬	下旬
日糖 T.印（五月）	一九、三〇	一九、三〇	一九、八〇
同（六月）	一九、三〇	一九、三〇	一九、八〇
同 N.S印（五月）	一九、〇〇	一九、〇〇	一八、八〇
同（六月）	一八、六〇	一八、六〇	一八、六〇
同 H.印（五月）	一八、六〇	一八、六〇	一八、六〇
同（六月）	一八、六〇	一八、六〇	一八、六〇

紙類、紙の賣行は益々良好にして月中の驛到着數量は一、〇五〇キロトンに上り前月より六一九キロトンを增し前年同月に比しても亦八四六キロトンの增加となつて居る相場は橫造、紙印刷紙が僅少の低落を示し仙鶴連史古新聞紙が騰貴せり

品名	單位	五月末	六月末
橫造紙	一磅	一、八四〇	一、八四〇
印刷紙	同	一九、五〇	一九、〇〇
更紙	同	一一、〇	一一、〇
仙鶴連史	一倭	三三、〇〇、〇	三三、五〇、〇
有光紙	一連	二、四〇、〇	二、四〇、〇
古新聞紙（和製）	一倭	六、五〇、〇	六、八〇、〇

同（舶來）同 — —

金物、新京驛到着の金物類は前月に比し三九二キロトンを減じたるも尙は三、四〇〇キロトンに上り需要は依然旺盛を極めたるが相場は左表の如く引續き低落歩調を辿りつゝあり

品名	單位	五月末	六月末
丸鐵（五分）	一貫	四、五四〇	四、四五〇
釘（二吋）	一樽	三、三五〇、〇	三、二〇、〇
亞鉛引鐵板（三〇番）	一枚	一、〇五、〇	一、〇五、〇
同（二八番）	同	一、三〇、〇	一、二七、〇
同（二六番）	同	一、六〇、〇	一、五七、〇

燐寸、在京四工場の製造高合計十五六七箱にして前月より一七四箱を減じたるのみにして大差なく販賣高は一〇、二一六箱に上り前月の五六、三三箱に比して殆んど倍加の好成績を示し居れり

工場名		五月 數量	五月 金額	六月中 數量	六月中 金額
寶山燐寸	生產	二、三三六箱	一七、一四〇、二〇	二、三三五箱	一七、六三三、〇〇
	販賣	三、一七〇同	四四、三二〇、二〇	二、八六三箱	三五、六三一、〇〇
長春燐寸	生產	二、〇一〇同	一五、四七〇、〇〇	一、九六八同	一六、一五五、六〇
	販賣	一、二一二同	一一、七三九、五〇	二、三一六同	二六、三一七、三〇
吉林燐寸	生產	一、八三六同	一四、一三七、一〇	二、三二四同	一七、八五四、八〇
	販賣	一、五三六同	一五、九三五、〇〇	三、三五五同	四四、一四〇、五〇
日清燐寸	生產	一、六六八同	一三、八四三、〇〇	九六〇同	七、三九三、〇〇
	販賣	九三五同	一〇、四四八、〇〇	一、三六三同	一六、九八〇、〇〇

海產物、海老、鯖等の盛期を一盛に入たる關係にて鮮魚の賣行は稍閑散となり市場會社の過ぎたると新鮮なる野菜の出入荷は三三一、一二八貫此金額四七、七六三圓にして前月より數量に於て四、四四六貫金額にて八三六三圓の減少にして相場も亦各品共低下せり

品名	單位	五月	六月
鯛	一貫	一、八九八	一、二七〇
鯖	同	、八七〇	、八〇〇
金頭	同	、五六〇	、四八〇
平目	同	四、六三〇	一、六〇〇
鰆	同	一、〇五〇	、八〇〇
鯔	同	一、五九〇	一、三二〇
鮑	同	二、八七〇	、七四〇
	同	五、一九〇	四、〇五〇

麥粉、新京も亦引續き取引は閑散となり驛到着數量は前月より一、六五〇キロトンを減じ一、一六〇キロトンとなり相場も五錢方低落せり

品種	容量	五月末	六月末
一等粉	四九磅	三、四〇〇	三、四〇〇
二等粉	同	三、三五〇	三、三〇〇
三等粉	同	三、三〇〇	三、二五〇

（完）

珠玉を碎く（七十四）
吉井勇（高根秀浩畫）
綠無斷上映上演

指環（十）

お澄は暫らくぢつと考へてゐたが、やがて思ひ切つたやうに顏を上げて、
「えゝ、實は兄がある人のところへ金を借りに行けつていふんですけれど、あたし何だか行き難いのですの」
京子はちよつと瞬きをしながら點頭いて、
「さう……、そりやあたしだつてずゐぶん經驗があるけど、お金を借りに行くつてほんとに厭なものね。しかしその人はよく知つてゐる人なんでせう」
さう言はれるとお澄は急に伏目になつて、逆上たやうに顏を紅く染めた。
「えゝ、以前は親類のやうに行き來をしてゐた家なんですけれど、今ではあたしの方がから落魄れてしまつたので、以前のやうなお交際はしてゐませんの」
「いゝえ、いけませんわ、いけませんわ。あたしがカフエーにゐたなんてことも松本さんには默つて置きたいんですの」
「あゝ、それぢやあ松本さんは、あなたがあのカフエー・アオヒにゐたつて事も知らないんですか」
「えゝ、多分御存知ないと思ひますわ」
「さう、それぢやあ默つてゐるわ。しかしあなたは差しあたりお金は何うするつもりなの。兄さんの藥代だの、何かだつて大變でせう」
「えゝ、何うしていゝか、あたしもう何だか譯が解らなくなつてゐますの」
お澄はさう言つて目をうるませたまゝ、ぢつと自分の膝の邊りを見詰めた。やがて淚がぽたりぽたりとその膝の上に落ち始めた……。
二人の乘つた自動車は、もう何時の間にか上野の廣小路のところを曲つて、湯島の切通しの坂を登つてゐた。すつかりもう目覺めた街の往來には、學生や勞働者の姿が引續いてゐた。本郷座も今開いてゐると見えて、そつちへ曲る橫町の入口には飾り門が出來て、左團次、中車、羽左衞門などと書いた、看板の字が目に映つたこれを見ると、京子には、今支那に行つてゐる高之助の事が考へられた。が、淚をこぼしてゐるお澄を見ると、何だか堪まらなく痛々しいやうな氣がして京子は何とかしてやりたいと考へたが、その時不圖目に付いたのは、自分の手の中指にある指環だつた。
「ねえ、お澄さん。あなたにね、この指環を上げるから、これを賣るなり何うなりしてお金になさいな」
京子はダイヤモンドの入つた指環を拔いてそれをお澄の手の上に置いた。
「えゝ、これを……」
お澄は驚いたやうに京子の顏を見上げた。
さう言つてからお澄は少し逡巡つてゐたが、ふやうな調子で、
「あのう……あなたはその方をきつと知つていらつしやいますわ」
「えゝ、あたしが知つてゐる……誰でせうねえ」
さう言はれるとお澄はますく顏を紅くしながら、
「あのう……何ですの……脚本を書いたり何かなさる松本英一つて方なのですの」
「あゝ、松本さん……」
京子は思はず口に出して呼ぶやうに言つた。と同時にさう打ち明けていふまでのお澄の顏色や言葉つきから、何かそこに事情がある やうな氣がして、微な嫉妬さへ感じられた。が、さりげない落付いた調子で、
「さう……松本さんなの。松本さんならあたしよく知つてゐるわ。何ならあたしから松本さんに話して上げてもいゝけれど……」
さう言ひかけるとお澄は、周章ててその言葉を遮るやうに、

日日案內

三行 一回金五十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
被雇度 一回金三十錢
住名在社 一回金十錢增
御申込みは電話二三〇〇番

讓店 城內目拔の場所料理店、下宿飲食店に適す 姓名在社

電話讓 姓名在社

讓店 三笠町目拔の場所二階建地下室及電話付にて至急讓り度し 姓名在社

電話急讓 姓名在社

金銀 潰金 高價買入 東二條通り廿五 横濱屋貨店

和洋料理 カフエー ミス新京 東四條通 電三七二三番

京染洗張專門 にしきや 消防隊橫入 電話二六二〇番

女給入用 東洋軒 電話二四三六番

都山流 尺八指南 初心の方歡迎す 師範 西田方山（ヤマトホテル裏）

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

造花及生花 神佛具 道具一切 加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三一〇八番

印刷 新京朝日通り 三友社 電話三四三八番

資生堂 勉強 保證 實 竹六 本店大連 博多屋新京支店 祝町二丁目七ノ二

小兒科 午前宅診 午後往診（日曜祭日休診） 商業學校前 小倉醫院 電話二九六一番

お茶

世帶道具、陶器類色々 三笠町二丁目 河久商店 電話三三〇四番

東京式 桐タンス 月賦販賣も致します 三笠町二丁目（河久裏） 原田商店

北鮮經由東京へ!! 大阪へ!! 一東京ヘ國際列車一 敦賀ヨリ東京ヘ

滿洲丸（雄基・清津出帆 每六・十六・二六日（月三回））
天草丸（雄基・清津出帆 每二・一二・二二日（月三回））
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸

派出 附添婦 派遣婦 會開業
御一報次第派遣致シマスカラ何卒御利用願マス
目下派遣多忙 會員募集
公認 松崎派遣婦會 新京曙町二丁目二七

公認 鴨綠江白魚水產組合製造
鴨綠江名產 白魚ほしまれ
到る處 百貨店 食料品店にあり
丸平洋行 電二六四一

防水マント 雨傘と日傘 新京東一條通二四 三宅提灯店 電話二六四八番

當店自慢 長崎カステーラ 五色羊羹モナカ 入舩合加盟店
和洋製菓 峯長春堂 電話三一九一番 同市場內支店 電話二八四二番

室內裝飾品 和洋家具 電話二九五一番へ……!! 新京蓬萊町二丁目十九番地 松本洋行

內科 小兒科 性病 痔疾科 アヘン、モヒ ヘロイン中毒 松本醫院 入院隨意 隨時往診應需 日本橋通郵便局前 電話三七五六番

菱刈軍司令官 外相訪問の上

對滿根本方針協議

飽くまで自主強硬

（東京卅一日發國通）關東軍司令官兼駐滿全權大使菱刈大將は卅一日午前外務省にて外相と會見新任の挨拶を交はしたる後、對滿國策の根本方針に關する協議を行つたが外相より左の趣旨の訓令を授與した

一、對滿國策は總て既定方針に基き克く之を誘導し對外自主且つ强硬方針を以て臨む

一、對滿政策決定に就いては從來通り外務、軍部並びに關係者との充分なる連絡の下に行ふべし

一、對滿政策の完全なる遂行の爲に要する滿洲獨立守備隊增駐の件並びに滿蒙局を外務省所管として設置する件に就いては外務、軍部相協力してその實現を計るべし

尙ほ新大使は來る八月二日の外相送別祝賀會を始め各方面との一應の挨拶を終りたる後現地の狀況に鑑み可及的速かに任地に出發すべく、尙ほ一日の閣議で在滿洲國大使館參事官に任命された谷アジア局長は菱刈大將と同行の豫定である

『日本を敵とするは 最も不利なり』

佛有力外交家ペ氏論ず

（東京卅一日發國通）外務省着電によれば佛國の有名な外交家ベルチナツクス氏は廿八日のエコー・ド・パリ紙上に於て對支援助問題に關し左の如く論じてゐる

國聯事務局の御親切な出しやばりは北支に停戰協定成立、日支間に進捗中の和平解決努力中の南京政府の穩健政策を好まず、內爭再燃の援資金調達にヨーロツパ各地を奔走中の宋子文、張學良

一年末期極東を修羅の巷と化した責任を忘れ御兩人の歡

＝兩人＝を取りかこんで一九三

待につとめを拔かしてゐる而して又札付の國聯衞生部長ライヒマンを滿支東洋顧問に派遣せんとしつゝある日本の滿洲國に對する計畫を打破る爲支那の北方鐵道設置の如きは最も聯盟のあくどい拔き差しならぬ愚策である、右の資金は果して何れから得られるのか、米國に於る五千萬弗の借款は果して政治的目的なしと斷言し得るやライヒマンが登場してゐる限り信用が出來ぬフランスが將來の極東政策を考慮する事なく徒に宋子文一派を援助する事は一九〇七年の日佛協約の忠實なる相手國たる日本を敵に廻はす結果となら

＝極東＝に殖民地を有する佛國は西太平洋の覇者日本を向ふに廻はし如何にしてこれ等の殖民地の安固を圖る考へか

湯玉麟の 續々歸順を申出づ

滿洲國では許容の方針

副官、軍需官等

（奉天卅一日發國通）湯玉麟歸順運動檯頭すると共に、部下將兵間の歸順熱熾烈となり大閣鎭にある湯玉麟の許から秘かに承德に來り滿洲國に歸順を申し出するもの續出しつゝあり、彼等は全然湯玉麟と連絡を取らず直接日滿官憲に歸順を申出でゝゐるが、今日までには湯玉麟の軍需官趙連壁、同じく湯の副官吳玉萃等十數名に達してゐる、滿洲國當局は之等に對し滿洲國建國の精神を徹底せしめる一方誠忠を誓はしめ、右歸順を許容してゐるが今後熱河省治安恢復王道精神の普及と共に益々增加するものと觀られてゐる

北鐵交涉

二日の第六回會議は延期

但し私的會議は續行

（東京一日發國通）北鐵交涉は去る七月十四日の會議以來半ヶ月振りに來る二日第六回會議を開く豫定となつて居たが然しながらその間ソ聯側は日本側を通じ私的會談を進める模樣で蘇ソ双方主張並びに意向は漸次明瞭となり交涉は妥協的色彩を帶びて來るものと期待される

神戶市で

低利四分公債

發行決定

（神戶卅一日發國通）さきに四分利半公債のトップをきつた神戶市では今回更に低利四分公債發行に決定した

が滿洲國側の大橋外交次長が故武藤關東軍司令官の遺骸出迎への爲三十一日東京驛發門司に向つたので二日の正式會議は又復無期延期となつた、

盧山會議の 協議內容

（東京一日發國通）其筋への情報によれば去る二十三日より二十七日迄の盧山會議の議題は左の諸綱目である

一、對外借款及び軍需品購入問題

二、全國財政整理問題

三、華北軍隊編成問題

四、華北戰區民衆救濟問題

五、湯玉麟解決問題

六、對外方針問題

七、西南執行部合成問題等で國際聯盟の對支援助問題と宋子文の借款問題に關し特に協議を重ねた

パラセル島に 軍事施設の意志なし

佛ジユ紙の論調

（東京三十一日發國通）巴里駐劄長岡大使よりの外務省入電に依れば、二十六日の佛紙ジユールナールはパラセル群島の問題に關し左の如く論じてゐる

佛國は右の島に、附近の珊瑚礁を避けるため標識を設置し航海の便宜に供せんとするが軍事的施設を設す意志は全くないと

滿蒙學術調査團 一行着京

德永理工學博士を團長として資庫熱河を探る滿蒙學術調査團一行は昨日午後七時五十分關東軍特務部、滿洲國、滿鐵等各方面關係者の歡迎裡に着京し

武藤元帥葬儀

七、八日ごろに延期

（東京三十一日發國通）武藤元帥の葬儀は七日若しくは八日に延期執行に變更する旨一日正式に決定の筈

各省豫算概算

兩三日中に出揃ふ

新規要求十億圓を突破せん

（東京一日發國通）九年度の各省豫算概算は昭和八年七月末日迄に大藏省主計局へ

＝提出＝されることに決定してゐたが三十一日夕刻迄に提出されたものは外務、陸軍、海軍、司法、文部、遞信の六省にして殘りの內務、農林、商工、拓務の各省に對しては至急提出するやう督促したので茲兩三日中には全部出揃ふ模樣で各省中既に豫算省議で決定を見た明年度の新規要求は外務、內務、陸軍、海軍、司法、文部、商工、遞信以上の八省分のみでも約九億六千萬圓の巨額に上り、此外大藏省の爲替差損金等は一億圓で農林省の時局匡救事業費其他は約一億二千萬圓であり、更に拓務省の約一千萬圓を入れると明年度の一般會計新規經費は十二億圓を突破する模樣で主計當局は今更の如く各省の非常時財政に對する

＝認識＝の程をあきれ稍々五億圓程度に削減する模樣である

豫算編成方針に關する 聲明書

（東京卅一日發國通）外務省では連日に亘つて明年度豫算編成に就き協議の結果三十一日內田外相の決裁を經て大藏省に廻附したが、今回の豫算方針は帝國政府が聯盟脫退後の自主獨往の外交方針を表示するもので あるが故に外務省では二十一日豫算方針卽ち外交方針に就き大要左の如き聲明書を發表し

日本帝國は滿洲國の健全なる發達を育成し且日支關係を調節して以て東亞に於ける一切の禍根を除き、進んで日本の立場を列國に正解せしめ列國との友誼を增進し、帝國が東洋平和の責任者として國際間に於て帝國が當然占むべき地位を確保するは目下の急務たると共に、他方日本の國情を考慮するに今後の外交は經濟的海外進出を目標とせねばならぬと云ふことを痛切に考へてゐる、今や日本の商品に對して海外各地で排斥乃至日本の海外に於ける商權は動搖せんとして居る、故に帝國政府は日本の海外經濟進出に對する表裏から種々の障碍を排除し更に未開の境地に於ける商權確立の方策を樹つるは刻下の一大急務と考へて居る、現在日本の國際的地位は外交及經濟の非常時にして日本政府はこの難局に處して右の方針貫徹のため最善の努力を傾注し遺算なきを期するの責務を有して居る、從つて之等の目的達成の第一線に立つ外務省は現在の規模及び施設を此の重大なる責務を遂行するため更に適當に按配し其の機關を整備する必要を痛感して居るのである

海軍第二次補充計畫 成案大藏省へ

初年度分合計一億八千萬圓

（東京卅一日發國通）海軍の第二次補充計畫は愈々成案を得たので三十一日明年度一般豫算と共に大藏省へ廻附したが內容は左の如し

一、艦船の建造（九年度より十二年度まで繼續事業）輕巡洋艦二隻、航空母艦二隻、驅逐艦十四隻、水雷艇四隻、潛水艦六隻、制限外艦艇給油艦一隻、工作艦一隻、敷設艦一隻、

二、航空隊構設（十二年度までに航空隊八隊新設す）

尙右に要する經費は六億七千萬圓で初年度分は一億八千萬圓要求の筈である

外務省明年度豫算 總額三千七百萬圓

（東京卅一日發國通）外務省明年度豫算總額三千七百萬圓の內譯左の如し

一、經常部	二千二百萬圓
一、臨時部	一千五百萬圓

新規事業費は總額二千萬圓でその內容は左の如し（單位千圓）

滿洲事業費	八、〇〇〇
爲替差損金	六、〇〇〇
新規項目（內譯）	六、〇五〇
國際文化局	
情報部	一、七〇〇
海外邦人局	一、〇〇〇

公使館五ケ所新設（アフガニスタン、アビシニア、コロンビア、エヂプト、南阿聯邦）領事館分館九ケ所新設（承德、黑河、綏芬河、通遼、洮南、カラチ、シリアのビールート、ブラヂルのベリイン、ポルチオのタワオ） 八〇〇

歐米局一課增設費 五〇

通商振興費	一五〇〇
電信事務改良費	一〇〇〇
補充費補助費の增額	五〇〇

李守信軍五萬

多倫奪回に進發

（奉天卅一日發國通）去る十一日夜多倫より撤退して開魯附近に集結してゐた李守信軍は最近承德方面にて多倫奪回の作戰準備を完了したので、一擧に多倫奪回を貫すべく廿九日未明多倫に向け出發したが、李軍の總兵は約五萬と稱せられるので多倫の奪取も近いものと觀られてゐる

近く興安省に 司法事務暫行辦法

目下法制局で審議中

興安省內に於ける司法制度整備に關しては蒙古の特殊性を參酌し他の四省と區別して興安省獨自の制度を編成し司法部の統制下に二年度より施行する事となつて居たが豫算の關係上右制度の實施不可能となつたので更に協議の結果改めて興安省司法事務暫行辦法を作成目下法制局に於て審議中であるから近く敎令を以て公布されることゝなつた、尙該辦法は大樣左の如く觀測される

興安省內民刑訴訟について は旗公署が第一審をなし旗長が審判長となり第二審は分省公署終審は最高法院に於て爲すものであるが原有旗民については旗公署に於て行はれ而して行政官である旗長、分省長が司法官として事務を執ることは法理上妥當でないが過渡的辦法として、又慣習的にその如く馴らされて來た省民にとつては寧ろ妥當とされてゐるので該辦法は妥當なるものと思考されてゐる

宋子文 ハンブルグで 支那關係者と懇談

借欵或は成立か？

（東京卅一日發國通）某所着電によれば宋子文は去る廿五日ベルリンよりハンブルグに赴き、支那關係者と懇談を爲してゐるが、借款契約の成立かと見られてゐる

掛け聲のみに 終つたらしい

歐洲各國に於ける對支借欵

（東京一日發國通）其筋への着電に依れば歐洲で對支借欵に奔走して居た宋子文がドイツと又も相當の武器購入の契約成立したとの說あるがこれはドイツ國內の經濟改革不景氣打破の必要から對支援助說が旺盛であり特に積極的對支發展說有力であるところから斯く傳へられたものの如く、ドイツ金融界の現狀から觀れば支那援助は容易ならざるものの如く對英佛、伊國等の借欵も果してそこまで行つて居るか恐らくは掛聲のみに終るであらう

國務院新廳舍 落成

豫々新築中であつた滿洲國々務院前の新廳舍もいよいよ落成したのでそれぞれ移轉し八月一日より事務を開始したなほ該廳舍內の事務所は馬政局、統計處、情報處、道路整理委員會等である

本田航空少佐 航空本部附に榮轉

滿洲事件勃發飛行〇〇隊長として南北滿洲を馳驅後關東軍飛行隊司令部附に轉じ勳功のあつた本田讓航空少佐は今回航空本部附を命ぜられ愈々本一日午前九時發列車にて官民多數の見送り裡に歸京の途についた

察哈爾問題

解決說の傍ら 馮軍々備を進む

（北平卅一日發國通）鄧哲熙汪精衞の代表謁賀如等の馮玉祥との數回の折衝によつて混沌たる狀態にあつた察哈爾問題も雙方の意見次第に接近し和平解決の氣運に向ひつゝあり と傳へられて居るが、方振武、孫良誠の兩部隊は現在宣化、臣莊一帶に在つて塹壕を掘り益々軍備を固めて居り、又今朝未明平綏線ト花園以西の鐵道を數ケ所破壞したと

密雲、灤縣等 接收終る

（東京一日發國通）北支に於ける戰區接收狀況に就て三十一日天津駐屯軍部に達した情報によれば、昌黎、灤縣等は二十七日密雲、懷柔等は二十八日孰れも接收を終つたが、遷安等の各地に於ける接收は目

排英濃厚な バジヨール族に

英國陸軍討伐を協議

（シムラ三十日發國通）アフガニスタン國境に近き上部印度のバジヨール地方で反英氣分盛んとなり印度政廳は罪狀顯著な排英煽動者達を隱匿しているバジヨール族に彼等煽動者の引渡方を要求する最後通牒を發したが同族は此の要求に應じないので愈々三十一日最後通牒の期限終了を待ち八月一日未明より英國空軍が爆擊がバジヨール族の本據を

斷行すべく旣に用意萬端を整へてゐる一方英國陸軍も亦英國に好意を寄せるヘリムザイ族を威嚇しつゝあるバジヨール地方のジヨーブモーマンド族を攻擊すべく審議中であるこれに對しこれ等反英各種族は戰時領袖會議を開きバヂヨール族の代表者が出席して、英國に對する抗戰策を議してゐる

鹽價引下斷行

延吉、汪淸、和龍及び琿、の

間島地方に於ける鹽價は從來百斤に付國幣十二圓二十錢乃至十三圓五十錢であつたが該地方の

＝住民＝ は主として朝鮮の細民で食鹽購入費が其生活費の重要部分を占めてゐる現狀に鑑み夙に鹽價改正の必要を痛感してゐた、そこで今回吉黑榷運署では王道愛民の大義に基き民衆の負擔を輕減する目的で大英斷を以て價引下を斷行した、卽ち百斤に付二圓二十錢乃至三圓五十錢を引下げ一律に國幣十圓と決定八月一日より實施することになつた、本改正鹽價は實に吉黑榷運署の犧牲的見地に出でたもので大同元年度の成績より見れば該地方だけで約二十二萬元の收入減となるわけである、これが爲に從來朝鮮より

＝侵入＝ しつゝあつた密輸入鹽價より廉價にあるので民衆は尠からず利益を享けることになろう

	舊鹽價	新鹽價	差引減額
		（每百斤）	
延吉	一三、一〇	一〇、〇〇	三、一〇
汪淸	一三、五〇	一〇、〇〇	三、五〇
和龍	一三、一〇	一〇、〇〇	三、一〇
同琿	一三、一〇	一〇、〇〇	三、一〇

ポグラ貨車 抑留事件

以外に早く解決

（ハルビン卅一日發國通）ポグラ貨車抑留事件に關し、駐哈ソ聯總領事スラブスキー氏は三十一日午前十一時外交部北滿特派員公署に島村外務官を訪ひ、協議の結果ソ聯は

一、國境出入の新規約成立されるまでは工事車と雖も通行せす

一、本問題に關する抗議はこれを撤回す

一、本問題惹起に就いては遺憾の意を表す

と述べ折れて出たので滿洲國も現在拘留の烏鐵從業員十三名を直ちに釋放せんことを約し、茲に於て本事件は以外に早き圓滿解決を見るに至つた

下匪賊橫行してゐるので之が治安維持の爲同方面の接收時期其他に關しては考慮中である

井上警佐逝去

首都警察廳督察室勤務警佐井上榮氏は赤痢で滿鐵病院に入院加療中の處病革まり一日午前一時卅分逝去した、假葬儀は二日午後四時祝町西本願寺で營まれる

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	十七片六十五
同 先限	十八片六十二
紐育銀塊	三十五仙八分五
孟買銀塊	五一（ルピ八分一）
米英爲替	四弗仙八分一
米日爲替	二十六弗八十五仙
米支爲替	二十六弗七十五仙
スチール株	五十五弗〇〇〇
アナゴンダ株	二十六弗[illegible]

▲棉花 ●米棉

現物	一〇仙〇〇
九月限	一〇仙三〇
十一月限	一〇仙四三
一月限	一〇仙四七
三月限	一〇仙五七
五月限	一〇仙六〇
七月限	一〇仙七〇

▲上海標金

昨比	八〇〇
高値	八〇〇
安値	八〇〇
本寄	八〇〇
步値	八〇〇

▲大連金鈔票

現物	一〇九八〇
遞近	[illegible]
寄付	一〇八五〇
步値	一〇八五〇

第廿一回決算公告

自昭和八年一月一日至昭和八年六月卅日

貸借對照表（金額單位圓）

借方

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
建物及機械器具	[illegible]
什器	[illegible]
原料	[illegible]
製品	[illegible]
麻袋	[illegible]
銀行預金	[illegible]
別段預金	[illegible]
定期預金	[illegible]
收入手形	[illegible]
假拂金	[illegible]
保證金	[illegible]
未收入金	[illegible]
未經過利息	[illegible]
外國貨幣	[illegible]
現金	[illegible]
合計	七〇、七九七、六

貸方

科目	金額
資本金	四〇〇、〇〇〇
法定積立金	一、〇四〇、六〇〇
別途積立金	一〇、〇〇〇、〇〇〇
減價償却積立金	一〇、〇〇〇、〇〇〇
銀行勘定	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
共濟組合	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通リニ候也

昭和八年七月

滿洲製油株式會社

首都警察廳警佐井上榮儀豫而滿鐵病院に於て加療中の處藥石の効なく本日午前一時三十分死亡仕り候條此段紙上をもつて御通知申上候

追而假葬儀は八月日午後四時祝町西本願寺に於て相營申候

昭和八年八月一日

妻 井上 レイ子

親戚總代 持留金藏

松井盛隆

枝元政之

友人總代 深田梁吉

泥谷金一

三州人會一同

廣告

新京市況

引上値 高値 安値 出來高

入荷 現物 出來 一二合

高粱 現物 出來高 一車

▲錢鈔（現物）

砂票對金票

現大洋對金票

國幣對金票

大洋對砂票

菓子 安心して買へる店

需要處の表門で堂々釣錢を詐欺す
白晝ロイド眼鏡滿人男の仕業
船越商會一杯掛る

卅一日正午ごろ市內日本橋通五十六番地船越商會で二十八歲前後のロイド眼鏡をかけた滿人男が現はれ『自分は滿洲國需要處營繕科の者だが金庫を見せて呉れ』と稱し金庫三個十四圓十錢を買ふべく約し『後から電話をすれば持つて來て呉れ』と言ひ立去つたが、午後二時ごろ電話で『金庫を需要處に持つてこい、それから百圓を渡すから釣錢を用意して來てくれ』とあつた同商店では釣錢八十五圓九十錢を用意し金庫をもたせた處需要處入口で前の男が現はれ釣錢を受け取つた後『現金は科長が支拂ふから待つてゐれ』と云ひ金庫を受取らず需要處內に姿を消した、暫らく待つてゐるも百圓は持つてこず營繕科に赴き事情を話すと金庫は注文しておらず且つ前記の男は居らず釣錢詐欺にかゝつたことを知り新京署に屆出たので、同署で目下犯人搜査中である

ルンペンの宿
來年度いよく新築
領事館の筋向ひに建つ
哀れな人々の福音

渦巻く滿洲景氣の裏には職を求め飢えになくルンペンの群れが多くなる一方である、噂に聞く新京の好景氣に釣られて來には來たが、內地で聞く新京とはすつかり事情を異にして日々每日

＝職を＝ 求めて歩くには宿賃が余りに高く、遂には路頭に迷ふよりほかない始末だ、いま地方事務所社會係で經營してゐる鐵道北の簡易宿泊所は定員僅かに三十余名で希望者の全部を容れるには余りに狹く、當局でもこれが大擴張計畫を立て來年度豫算に計上、さきに本社へ申請中のところ此のほど本社から收支決算書の提出方を求めて來た、思ふに本社でもその必要を認めて

＝審議＝ をすゝめることになつたものゝ如く、同計畫は經費約七萬圓を以て領事館筋向ひ東に堂々たる三階建新築をなし悠に定員百五十人を收容すべく家政婦斡旋事務取扱も併せて行はうといふのでこれが實現の曉はルンペン連に取つては大きな福音で豫算決定のうへは來春解氷期を待つて直ちに着手されることになるであらう

學徒研究團
新京における日程
七日迄に全部來京

滿洲產業建設學徒研究團一行千三百名は來る七日迄に全部新京に集合新商、高女、室町西廣場の四校に分宿し八日午前中は軍司令部に於て感謝狀執政府に於て賀狀の奉呈式を行ひ午後は西廣場校で日滿兩國の柔、劍道大會を開催九日は西公園で日滿青年大會を舉行し十日午前八時發列車で敎化に向ふ豫定である

學徒研究團
第二班着哈

(ハルビン卅一日發國通) 滿洲產業建設學徒研究團第二班三百名一行は卅一日午後二時十分新京より來哈、驛よりバスに分乘し直ちに沖、橫川兩志士の碑に參拜、同所で特務機關岡田氏の說明を聞き、それより二組に分れミルレル兵營及び日本小學校に宿泊する事となつた、明一日は市內見學二日南下の豫定である

北滿に
皇軍の武威普し

(ハルビン卅一日發國通) 北滿に於ける最近の討匪行動を總括大觀すれば大要左の如し

一、綏稜方面　高橋部隊は廿日夜半東寧を出發、馬家子附近にて三俠の指揮する約百名の匪賊と交戰之を擊退した、此の戰鬪に於ける敵の損害は相當大なる見込であるが密林のため詳細不明である

一、撫山方面　虎林縣附近に侵入した匪賊團三百名は二十五日楊木崗附近に現はれたが直ちに擊退された

一、烏吉密河方面　二十四日烏吉密河南方約二里の地點に匪賊約三百名來襲せりとの報に烏吉密河守備隊は直ちに出動、十豆子店南方地區にて紅槍會匪約百名に遭遇し、之を擊退したが敵は死体四を遺棄して四散した

田霖匪敗殘部隊を
完全に擊滅す

(奉天卅一日發國通) 二十八日中島部隊の攻擊に遂に頭目田霖を失つた敗殘部隊が廟嶺東方七キロ東井家溝に集結中なるを探知した中島部隊は三十日午前十時濟原出發午後九時東井家溝に到着、敵の左翼を衝く可く北方山地より一齊に銃火を浴せかけ激戰時余の後完全に之を擊滅した、此戰鬪に於て敵數十を捕虜とし軍馬二十余を鹵獲した

前借踏倒し藝妓
逃走準備中捕はる

市內三笠町三丁目六番地料亭會稽酒家田中サクさん抱へ藝妓久丸こと前田イチ(二〇)は三十一日午後六時無斷家出し午後十一時になるも歸宅せざるため家人は新京署に搜査願を出すと共に心當を搜した處前借六百圓を踏み倒し逃走すべく情夫安藤某と計り扶桑旅館に潜伏し高飛の準備中を新京署員に逮捕された

左手で
ダルマを書き
國防献金

步兵第四十聯隊大正九年兵神原信雄氏は除隊後パーキンソン氏病のため右手足の自由を失ひ言語また澁滯その後感ずる處あつて、左手をもつてダルマを書き諸國行脚を思ひ立ち本年二月十一日までに一萬五千枚を書き、これが純益金のうち五割を國防献金として既に八回に亘つて献納三十一日入京在京人の喝に任せ一枚一圓で揮ごうしてゐる

水非難漸く緩和
月半までに井戸が三つ完成
非常時の解消近し

最近多少氣温の關係も手傳つてか新京の水非難も幾分緩消された形で、給水も極めて順調に行はれてゐるが、なほ本年度工事として施行中であつた第四水源地下台子二號井戸はいよいよ此のほど

＝完成＝ し來る三日から一般に給水出來得ることゝなつた、これは本年度計畫として十二井戸中第一に實現されるもので湧水量凡そ三百トンの見込である、引續き圓山堡第一號遠家溝子第二號の各井戸も來る本月中旬頃には同時頃に完成される段取である、これで尠くも一日六、七百トンの給水増加を見るべく人口に當てはめると千二、三百人分が殖える勘定だから水

＝非難＝ も多少緩和されるであらうと見られ地方事務所水道係でもこれで現在中央通以西に行はれてゐる斷水を解除し上水道非常時局も漸次解消しやうといふ意氣込みである

故元帥の
葬儀に
滿鐵を代表して
河本理事上京

(大連三十一日發國通) 六日青山齋場で執行される故武藤元帥の葬儀に滿鐵代表として參列する河本理事は三十一日出帆の「うすりい丸」で上京した、尚ほ同船では財務局中村經理課長も電信會社設立に伴ふ資金豫算打合せの爲上京した

遺骨けふ着く
必ず送迎しませう

第十〇團の遺骨五十五体は一日午後三時二十五分ハルピンより着京、太子堂に安置され明二日午前九時五十分發で南行の豫定

まだ儲け足りぬとて
酒の値上陳情
料理店組合から新京署へ
當局は許さぬ方針

日本酒一合を三十五錢に賣つても利益がないから五錢を

＝値上＝ して欲しいと新京料理店組合長瀧竹三郎氏(八千代)は三十一日組合員を代表し新京署に井上保安主任を訪れ組合員の嘆願書を提出し且つ嘆願をなした、同署では現在の一合三十五錢は決して安價でなく相當の暴利を貪つており一般市民から非難の聲が揚つてゐる折からとて値上を拒絶した、料亭側の値上主張は滿洲國の關稅高率で四斗樽一挺に對し料亭主の手に渡る時は百圓となるため四斗樽一挺をあけても四十圓の

＝利益＝ しかないと頑張つてゐる、右に就き高山署長は語る

奉天が値上をしたからと云つて新京が奉天と共に歩調をとることはない新京料亭の現在は非常な利益を揚げてゐることは事實だ、料亭がたち行かぬことはない、又料亭側主張による四斗樽が百圓になつても一合の酒で十錢の利益があれば結構だ値上などはまかりならぬ

自分は絶對値上を許さない

星ケ浦の海濱聚樂から
第六信　室町小學校

二級までの苦心
尋六　針金勝

今日は波が高い、此の分なら泳げるかなと思いながら、手足の關節を曲げたり、伸ばしたりして集めの號令を待つ　出發の號令　と共に二十人餘の人は一列になつて順々に水の中に入る「今度こそ通つてやるぞ」と言ひながら水の中に入つた　雨あがりなので水がにごつて居る、沖へ行くにつれて水の色が紺色になつて來た、列が曲るころ急に水の溫度がつめたくなつて來た、氣持が惡い……もう大分手足がくたびれて來た、前に居た人が列からはなれて船にのつた、僕ものろうかと思つたがこゝががまんのしどころだと思つた、中西君が僕の後に來て居たので二人で一緒に泳いで居た、ところが急に中西君が後れたのでへんだと思ひながら僕は一人つゞけて泳いだ、後で聞いたら足のすじがつつたそうだ　岸へもどる頃はつかれきつて氣が遠くなるばかりだ、船の上から「がんばれがんばれもうすこしだ」とはげましてくれる、其れに力を得て一しようけんめいに泳いだ　岸へついた時は頭がおもくてたをれそうだつた、後で僕は「あんなに波の高い時よく泳げたものだ」と思つた、附記!!　合格十五人中五年の中西君とうくがんばつて外に高一の諏訪君三人が室町校から二級に進級しました、時間は四十分間千米です

三級になつた
尋六　岩吉重信

今日は僕らが待ちに待つていた、二ど目の三級試驗だ、この前はすべつたが今度は落ちないぞと勇んでホテルを出た、海岸に來てみると思つたより波が荒い、この分なら三級はむづかしいぞ、出發の時間はだんだんと迫つて來た心臟ははやがねのごとくうつ大ていの者が今日はだめだあと顏を見合してゐる、海にはいつてみると思つたより冷たい、跳臺近くなると

よいしよく

よいしよく

はやしたてだした、急に横波が來たので、一口を頂戴したまはりかごだ、先に進んでいた者がへたばつてボートーに上つた、跳臺をすぎると海草がじやまになつてしまうかない、ノタノタしそうになつたがうまいことそこをきりぬけた、つきそいの先生が「あとすこしだ、がんばれ、今舟に上つたら損だぞ」と力をつけて下さつたよいしよくの聲が急に大きくなつた來た、濱べについたときつかれも忘れて「三級に通つた」と思はづさけんだ

遠泳
萩原圭介

僕が待ちに待ちかまえた、三級の試驗もいよいよ今日となつた、僕等は勇み立つてホテルを出た海岸に行つて見ると波はあらいし「もうこうていだめだ」と思つて水にはいりました、とても水は冷いが泳いで見ると「エイサホイナ」がけ聲勇ましく波の中を西瓜のやうな頭が並んでゆくとても氣持がいい、やつとびだいの近くまで來てからあとを見ると、おうえんしてゐる、先生は又「よいしよく」と力を出して泳いでゐました、僕はこんなに皆がおうえんするのにすべるとはなさけないと思つて一生懸命に泳ぎ始めましたまがりかどまでやつて來た、そして自分の學校を見るとやつぱりおうえんしてゐる、僕は思はずしらずクロールで泳ぎ始めた、身体はつかれていが波にのつているのでとてもゆかいだ、いよいよ陸地へついた、三級になつた、だんぜんうれしい!!、其の時僕はなんともいえない氣持で一杯でした(終)

昭和八年七月二十四日

萬歲界の總帥
砂川捨丸愈よ開演
本紙讀者は大割引
一、二の兩夜長春座で

萬歲界の總帥、コロムビアレコードでお馴染みの同社專屬の人氣男砂川捨丸を座長に東西萬歲界の

＝花形＝ をすぐり更に藤間流の舞踊の名手の美形連や、子供のよろこぶ美術紙切り、ハーモニカ曲奏家など加へた四十餘名大一座はいよいよ明二日午後六時からと翌三日同時刻からの二回長春座で滿洲大博覽會協贊會演藝部の主催本社後援のもとに華々しく開演する、一行の至藝妙技は感嘆乃至爆笑爆笑で暑さを吹き飛ばす萬歲をひなしで續演する、主なる連名とその持ち藝は左の通りである(寫眞は捨丸)

萬歲と大珍藝連　砂川一二三　砂川捨の字　桂枝二　橘家久榮　橘家橘彌　玉の家圓太郎　玉の家壽美花　砂川政奴　砂川捨若　森永チョコレート　德川千代香　砂川愛之助　河內家新之助　砂川捨千代　桂枝輔　中村春代

舞踊の名手連　藤間靜子　藤間小琴　藤間敏子　藤間メ子　藤間政子　藤間小玉

美術紙切り　柳家春郎　柳家和子

ハーモニカ曲奏　上林幸夫　上林文子

お囃し　砂川社中

＝六時＝ の定刻に開演それからもうことが豫想される、入場料は特等一圓八十錢、一等一圓五十錢、軍人學生七十錢、小人三十錢と決つてゐるが、本社は興行主と交涉の結果本紙讀者に限り、大衆料金として一等席一圓五十錢を一圓に割引せしの「讀者慰安の夕」とすることゝし其割引券は本紙に添へて讀者のお手許に屆けましたから利用ありたい、因に一座多人數であるから

九A對七で
滿軍惜しくも敗る
昨日の對慶應野球

九A對七で慶軍快勝、午後六時閉戰

三十一日の慶應對滿洲對軍の野球戰は前日行はれた對新京戰の人氣に押されて觀衆殺到午後四時より西公園球場にて川上、田中、小野三氏審判の下に、滿軍先攻にて試合開始△滿軍のヘビーバッター栗原のホームランにて滿軍先づ二點を先取すれば、慶軍猛然三點をかへし、劈頭より息詰るやうな打擊戰シーソーゲームにて觀衆の緊張熱狂裡に試合進行、滿軍よく慶軍の堅陣に迫つて好試合を見せたが、さすが慶軍の張切つた技倆に及ばず敗

△兩軍のバッテリー並びにスコアーは左の如し

慶應　春日井、水谷、櫻井
滿軍　赤木、香西、松本

慶應	3	1	2	0	0	1	3	0	A	9A
滿軍	2	2	0	0	0	0	0	0	3	7

慶應軍は同日午後十時新京發奉天に赴き、撫順、奉天滿軍と相見ゆる筈である

厭世藝妓服毒

新京城內東三馬路料亭京樂宮川松男氏抱へ藝妓明石こと辻千鶴子(三)は病弱を悲觀し去月二十九日正午外出し日の出藥房で毛染藥(るりは)一十五錢を買求め歸宅の途中新京百貨店階上で服用し三十日午前三時ごろ自宅で苦悶中を家人が發見し直に山市醫師を招き應急手當の結果一命は取止めた、原因は厭世から

鐘紡サービスステーション

鐘紡サービスステーションは同社の製品の即賣の外一ヤールの生地でも一本のネクタイ一枚のハンカチフでも小賣するので重寶がられてゐる滿洲にはまだ出來て居らぬが上海青島天津京城等は既に開設されてゐる

けふの銀相場

鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
大洋對鈔票	[illegible]

爆笑王
砂川捨丸
八月二日三日の二晩限り特別大興行(日延なし)
東西萬歲界の名人花形大競演見よ四十余名大豪華陣……
コロムビアレコードでお馴染の同社專屬の人氣男が暑さをカッ飛ばす笑ひのホームラン汲めども盡きぬナンセンスの泉是非一夕の御來場を
入場料　特等　一圓八十錢　一等　一圓五十錢　軍人學生　七十錢　小人　三十錢
◎新京日日讀者は一等席一圓に割引優待券あり
市民娛樂の殿堂　長春座
主催　滿博協贊會演藝部
後援　新京日日新聞社
大一座

呉服
中央通り
やまき呉服店へ
電話三八〇五番

土用二の丑
八月三日
●遠近に拘らず出前致します
割烹　藪虎
電三四四五

陸軍　四洮鐵路局　興安省警備軍　各官衙　御指定
通遼驛前　通遼ホテル　電話一〇五番
女中數名入用

移店廣告
毎度御引立を蒙り有難厚く御禮申上ます業務擴張の爲め今般左記に移店致し一層皆樣の御期待にお沿い可申ま勉め致しますから從前通御愛顧の程奉希ます炎暑の砌り切に御自愛の程お祈り申上ます
昭和八年七月三十一日
移店場所　室町二丁目九番地(新京公學校前)
疊商　鶴殿兄弟商會　電話二四八二番
各位
鶴殿長壽惠

移轉廣告
今般左記へ移轉仕候間此段乍略儀以紙上御通知申上候　敬具
東三條通三八謝公館南隣
滿鐵醫院東門前
尺八　都山流指南　西田方山
(舊住所三笠町一大和ホテル裏)

森永ベルトライン
日本橋通り　金泰洋行

幕末異聞

愛慾火箭

（百三十二）

瀧川駿　作
村瀬洗舟　畫

遊中（二）

夜のひきあけ頃。茂三の賭場の前へずらりと並んだ、向ふ鉢卷に眞田紐の襷、手甲脚絆の身拵へ厳重な喧嘩支度の男達があつた。

「おい茂、手前は年に三千兩の寺錢が欲しさに、火事場泥棒を働きやがつたな」

斯う言つたのは鐵太だ。

「何んだと？」

茂三の方でも、鐵太のなぐり込みの用意が出來て居ると見え、さして驚かない。——用心棒連に兒分小方がばら〳〵と現はれた。

「手前のやうな野郎に、口で言つても解らねえ、脇差に物を言はしてやらア」

鐵太が颯と脇差を拔いた。上ッぱり一枚脱げば喧嘩支度の、六尺坊の茂三、一足退つて上ッ張りの着物一枚脱ぎ捨てると、

脇差を拔いた。

「何を」

といふと、双方が薄暗の中で、風に靡く芒のやうに脇差を拔いた。

この時だつた。この日一番に賭場へ姿を現はした、甲州の親分鰐鶴の萬吉が聲をかけた。

「おつと、何つちも待ちねえ。口を利く程の野郎でもねえが、この鰐鶴が仲に入る。——まあ脇差を引きねえ」

「え？　だが……」

鐵太には未練があるらしい。

そこへ行くと年の功、茂三は、

「鰐鶴の親分が、口を利いて頂くとありや、何にも言はねえ、器用にお任せいたしやせう」

鐵太が言ひ澁つてゐるのを、安五郎が袖を引いて、目顔で知らした、任せろと言ふ事らしい。だが中腹の鐵太には言ひ兼ねてゐる。それを安が側から、

「鰐鶴の貸元が口を利いて下さるなら、片手落ちはござんすまい。伊賀屋の方でも器用に別けやせう……」

「さうか、……いづれも證を言ふぜ。しがねえ野郎の顔を立てて下さるたあ、鰐鶴の萬吉も田舎へ歸つて鼻が高いや。……まあ冗談は拔きにして、どつちに利があると言ふのは別にして、此處で喧嘩騷ぎをして、賭場稼ぎに還つて見ねえ。利があつて利にならねえ。喧嘩は今日一杯待ちなせえ。此處の賭場のあがり次第の喧嘩は勝手だ。今日一杯は我慢をしなせえ。その代り寺錢にはこの鰐鶴が立ち會はうぢやねえか……」

この解つた話しに、双方とも異存はなかつた。

「お任せ申しやす」

「さうか、さう解つて呉れりや、年寄が口に風邪をひかした甲斐があつたと言ふもんだ」

こんな事で、喧嘩は晩まで延びてしまつたのであつた。

興四郎と早苗が、太田道齋の勝手元から拔け出して、大川端まで來た時に、この喧嘩が再燃してゐる時だつた。

暗がりの大川端で、入り亂れて火花が散つてゐた。

「おや？」

興四郎の手を取つてゐた早苗は此の様子を見て驚いたらしい。

「うむ」

興四郎は氣を沈めて、ぢつと眺めてゐた。

「町方の連中の喧嘩らしい。この間に逃れやう」

この時、太田道齋の勝手元から躍り出た、御用提灯が、一つぽつんと浮いた。

だが、この時は既に興四郎と早苗とは喧嘩の中を潜つて、大川に繋いであつた船へ乘り移つてゐた。

「御用だ！」

驚いたのは、貸元連中。

「おや？」

手が廻るにしては、早過ぎた。

興四郎と早苗とを乘せた船はこの騷ぎを遠目に見ながら、大川を上つて行つた。

八月二日　水曜　舊六月十一日　庚子　滅　執　箕宿

●一白の人　大望を無理に遂さんとして失敗を招くべし　丙と亥と寅が吉
●二黒の人　氣運佳良にして百事成る普請造作名弘め吉　甲と庚と癸が吉
●三碧の人　周到の用意を以て事を乘ぐれば過ちなき日　乙と亥と寅が吉
●四綠の人　舊態を脱して新方面の開拓に努むるも宜し　未と亥と寅が吉
●五黃の人　一寸の隙なくも策を實施して好成績を得ん　辛と壬と癸が吉
●六白の人　諸事乘り氣を戒しめ定業に從ふを安全とす　庚と亥と癸が吉
●七赤の人　勇氣に逸りて却て波瀾を惹き起すが如き日　乙と庚と亥が吉
●八白の人　歩調正しく進めば彼れも無く通達亦た早し　甲と辛と壬が吉
●九紫の人　人先きに立ちて功名せんとせば却て失敗す　已と丁と庚が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

ばいかる丸　八月二日
×しあとる丸　八月三日
亞米利加丸　八月四日
うらる丸　八月五日
はるびん丸　八月七日
×たこま丸　八月八日
香港丸　八月九日
うすりい丸　八月十一日

●切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案內所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃一割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三一六番

洋灰加工・衛生工事・水道・煖房
建材製造販賣・其他附帶工事
工事請負　吉備洋行　電話二二八三番・工場二七六〇番

金物の御用は何でも揃ふ店
……取扱品目……
建村用金物　家具建具金物　鐵工土農用具　家庭用金物　度量衡各種
露式金物類　大工道具一式　和洋打及物　ゴムホース類　衛生陶器類
其他金物荒物一式
金物百物店　西脇洋行
三笠町二丁目（演藝館前）
電話二二四〇番

長春美容院

髮結　美顏術　化粧法　社交服着付　婚禮衣裳着付
吉野町市場前ミツワ屋書店內
電話二三三一番

クラブ美身クリーム

風に薫る……夏の女性美
スポーツに、登山に、海に……どんな炎天にも安心して行ける最も完全な日ヤケ止め、アレ止めのスポーツクリーム、夏のクリーム
どんな炎天も苦にならぬクラブクリームの爽かさ
一番よくきく日ヤケ止め…
フレッシュなクラブ肌色白粉・スマートなクラブ水色白粉・モダーンなクラブ桃色白粉

耳鼻咽喉科專門
（入院隨時）
新京梅ケ枝町四丁目二番地（領事館前東三條橋角）
公主堂
三井醫院
院長醫學博士　三井忠
電話二七〇三番

損害豫防機關
取引先信用調査
緣談先身元調査
各種企業調査
人事秘密探偵
經濟事情內査
貸借整理代行
秘密嚴守　料金低廉　十餘年前創業　全國各地聯絡
新京老松町十一
新京興信所
電話三三五〇番

食道樂　千鳥　電二〇二八

靴と鞄
無批判の道を行く同業界に沈默を破て立ちし大長洋行が一九三三年劈頭に投ぜし巨彈
萬人均等しく渴望の的
見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を
大長洋行製靴部
營業部
大經路第三市場二十號
外交員募集＝市內要保證人二名

千代田生命
外務員招聘
我社は現代の滿蒙の趨勢に鑑み日滿親善と日滿經濟基礎融合のため日滿兩國人士に健實有利なる相互保險を勸め以て一は蓄財のため一は相互扶助のため左記各項に示す人士を求め其募集に當らしめんとす
○年齢廿五歳以上の教養ある强健潑剌たる紳士を求む
○日滿人にして兩國語に通ずるものは特に優遇す
○希望者履歴書持參（午前十時まで午後五時以後）御來訪ありたし
○駐在地、新京、哈爾賓、チチハル、吉林、敦化及沿線各地
千代田生命保險相互會社
新京事務所
在中央通り國都ホテル內

機械工具　煖房材料　水道用品　衛生陶器　油脂塗料
新京日本橋通六〇
東華洋行
電話三三五七番

五秒デ出來ル
アイスクリーム製造機
ボントン
五秒デ凍ル　如何ナル飲料モ　ビール。サイダー。
新京發賣所　金泰洋行
北滿總代理店
新京祝町二　泰和洋行

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社
新京永樂町四丁目一番地
發行人 十河柴忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

新柄布地豐富入荷
室町小學校前
井上洋服店
電話三七六四番

排日記者アブトン 滿鐵沿線だけ巡遊許可さる 新京へも近く來る

【大連一日發國通】アメリカの排日記者アブトン、クローズの引率する十名の◯洋觀光團は一日午前六時入港の神通丸で來連したが大連水上署は彼等に對し愼重に旅券の査證を行つた、一行は新京、奉天等滿鐵附屬地のみを巡遊し滿洲國内に立入らぬことゝなつて上陸した

明年度海軍豫算 總額七億六千萬圓 新規要求額五億一千萬圓

【東京一日發國通】海軍省明年度豫算は七億六千萬圓と言ふ空前の大豫算で海軍としては目下の帝國の財政難は諒とするも迫りつゝある列強の對日經濟封鎖的傾向、一九三六年のワシントン條約滿了期を前に非常時にある狀態より見て海軍充實は國防上の緊急問題なりとし全額通過の努力を爲すべく決意してゐる、今次豫算で最も多額なるは第二次補充計畫六億七千萬圓中初年度分二億三千萬圓を筆頭として現有勢力上に至大の關係ある艦船改裝費一億五百萬圓の兩者で、豫算内容は左の如し

(單位千圓)

一、基本豫算 二五〇、〇〇〇
一、新規要求 五一〇、〇〇〇

内譯
第二次補充計畫費 二三〇、〇〇〇
艦船改裝費(長門、陸奥の機關換裝、巡洋戰艦の仰角引揚、赤城、加賀の大改裝) 一〇五、〇〇〇
航空廠設備費繰上げ 五、〇〇〇
各軍港學校設備費 一、〇〇〇
艦船維持費 二〇、〇〇〇
航空隊編成替 八、〇〇〇
航空母艦飛行機建造費 八、四〇〇
艦載飛行機建造費 四、八〇〇
航空隊特設費 六、二〇〇
潜水艦換裝費 二、〇〇〇
油類購入費追加 三〇、〇〇〇
(其他略)

明年度豫算 總額廿億突破か 新規要求額十二億圓程度

【東京一日發國通】明年度豫算新規要求の内譯は左の如くである(單位千圓)

陸軍省 二三〇、〇〇〇
海軍省 三七〇、〇〇〇
内務省 一八四、七五〇
商工省 二九九、七七〇
外務省 一九、五〇〇
文部省 一三、八二〇
遞信省 一三、一八〇
司法省 三、七〇〇

右の如く新規要求額は十二億程度に上る爲、主計局では前議會の財政計畫確立の爲の希望決議もあることとて將來の財政を考慮する要ありとして各省に於て既定經費の節約により財源捻出を來得るものは別として新規要求は努めて緊縮する方針で、之が査定は五億圓程度即ち要求の半額以下にする決心である、明年度標準豫算は約十六億圓で之より遞信特別會計獨立による遞信省分を除く時は約十四億二千萬圓、新規要求容認額を五億圓とせば明年度一般會計豫算は十九億一千萬圓程度に止める見込みである、但し軍事費其の他各省復活要求は例年通り猛烈だらうから大藏省が査定方針を愼重にしても結局は二十億臺超過を免かれまいと觀られてゐる

菱刈大將 陸相を訪問

【東京一日發國通】菱刈大將は一日午前八時半陸相官邸に荒木陸相を訪問し、對滿方針を全面的に協議した

ツルボは沸る ××× 改正關税は 果して滿足なりや 當業者の意見を聽く(六)

夏帽子

夏帽子は滿洲内で製せられる一部の下級品と歐米より輸入される特殊品を除いては總てが日本製品である今次の關税改正で『税率』の低下を見たのは麥稈製及關製であつて、同じ夏帽子でもパナマ等には及んでない、關税の改正税から云へば決して批難すべき點はなく、むしろ英斷として稱すべきだらう、昨年十月安東に於て開催された第十六回滿洲商工會議所聯合會に於ける改税改正の要請中にも夏帽は一割低下の從價税二割を要求してゐる程でこれが一足飛びに一割二分五厘となつたのであるから當業者も滿洲國の立前とあるところの關税收入から見て『意外』の感に打たれたであらう從て此改正に對して滿腔の贊意を表はしてゐる、しかし欲を云へば果しがないが、漸次一般化し現在では大衆向きとなり切つたパナマ帽子も二割位までに引下げて欲しいといふ輿論だ、麥稈製夏帽子を一割七分五厘も引下げて置いて今は大衆品となつたパナマ帽子を全然引下げないといふ事は惜に偏頗に流れるの嫌がある、右につき某當業者は語る

此度の改正は吾々としては非常に滿足です、たゞパナマ帽子の方の改正も斷行して欲しかつたのです、同品は今では純然たる實用品になつて居りますから一割低下の從價税二割は妥當です、改正により滿洲國製品を脅すといふ點は絶無と信じます、これによつて今まで小包郵便を利用されてゐた同品も今後は大貨物でどしどし進出して來るでせう

井上司令官 坂本〇團長 大連發歸任

【大連一日發國通】井上獨立守備隊司令官は三十一日午後九時三十分發坂本〇團長は一日午前九時發相前後して歸任した

海軍特別大演習は 八月末日迄續行 八月廿五日は横濱沖で觀艦式

【東京一日發國通】海軍特別大演習は八月一日第二期戰に入ることになつたので海軍當局は左の如く語つた

特別大演習は六月一日開始され各鎭守府各艦隊は夫々獨立又は『聯合』して演習諸作業を行つたのである就中永野中將麾下の赤軍第四艦隊其他臨時編成部隊は比較的短期間中に其の練習の度を高むる必要上約二ケ月に亙り引續き旱天炎熱と鬪ひ日夜火の出るやうな猛練習に從事したのだが乘組員の士氣愈々旺盛にして茲に豫期の成果を收め八月一日より愈々第二期の演習に入ることゝなつた第二期では小林大將の率ゆる聯合艦隊及び各鎭守府も直接之れに加はり更に猛烈なる訓練演習に從ふのだが此期間一部の演習として横須賀鎭守府及び赤軍第四艦隊は陸軍と聯合して關東防空演習を行ふこととなる第三期演習は八月中旬以後帝國海軍の殆んど全兵力が參加の下に行はれるのだが其の規模の大なる蓋し未曾有のものだ此期間大元帥陛下には御召艦比叡に御乘艦親しく演習の御統裁に當らせ給ふことは國民と共に『誠に』恐懼措く能はざるところである、斯くて全艦隊は八月二十五日横濱沖で行はるゝ觀艦式に於て御親閲を仰ぐ運びとなる

故元帥の葬儀 八日日比谷公園で

【東京一日發國通】故武藤元帥の葬儀は八日午後零時卅分日比谷公園で執行することに一日の葬儀委員會で決定された

外務省異動 正式に發表さる

【東京一日發國通】本日の閣議で左の人事を決定した

外務省亞細亞局長 谷正之
任大使館參事官
滿洲國在勤被仰付
總領事 桑島主計
任亞細亞局長
大使館參事官 川越茂
任總領事
廣東在勤被仰付

右のほか外務省より左の如く任命發表
大使館一等書記官
兼總領事 栗原正
任總領事
天津在勤を命ず

日本新聞協會員 卅一日神戸出帆渡滿

【門司一日發國通】大連、新京の大會に出席の日本新聞協會會員は三十一日正午「うらる丸」で神戸を解纜元氣旺盛で瀬戸内海の風景を鑑賞し一路平穩に一日午前七時門司に入港した

印度バジョール地方 反英擾亂惡化 英軍飛行機追つ拂はる

【シムラ卅一日發國通】反英機運濃厚となりつゝある上部印度バジョール地方で三十一日英國飛行機がバジョール賊首領本據に對し曩に印度政廳が發した反英擾亂者引渡要求に關する最後通牒に應ぜねば一日拂曉を期し各村落を爆撃する旨を認めた通信筒を投下したところ地上よりは却つて小銃の一齊射撃を浴せ之を追ひ返した、一方印度軍隊一部隊はアフガニスタン國境近くの上部モハマンド族からの襲撃の脅威を受けて居る親英派のハリムザイ族を援助すべく三方からダンドに進出した

陸軍定期大異動 昨日發令さる 多門中將待命被仰付

【東京一日發國通】陸軍定期大異動は愈々一日左の通り發令された

歩兵第一旅團長少將
大勳位 鳩彦王
任陸軍中將補近衛師團長
參謀本部附少將
大勳位 稔彦王
任陸軍中將補第二師團長
騎兵第一聯隊附
騎兵少尉 恒德王
近衛騎兵聯隊附
騎兵少尉 李鍵公
任陸軍騎兵中尉(各通)
△進級
參謀本部第四部長
少將 西尾壽造
陸軍戸山學校長
少將 澁谷伊之彦
第四師團司令部附
少將 中村滋作
軍馬補充部本部長
少將 武藤一彦
歩兵第四旅團長
少將 鈴木美通
近衛歩兵第二旅團長
少將 佐藤三郎
朝鮮軍參謀長
少將 兒玉友雄
近衛師團司令部附
少將 武田秀一
陸軍航空本部總務部長
少將 堀丈夫
陸軍造兵廠大阪工廠長
少將 小柳津正藏
陸軍省兵器局長
少將 植村東彦
陸軍工兵學校長
少將 上村友兒
任陸軍中將(各通)
麻布聯隊區司令官
歩兵大佐 平田重三
歩兵第卅六聯隊長
歩兵大佐 大賀一男
野砲兵第廿六聯隊長
砲兵大佐 池野松二
東京陸軍兵器支廠長
砲兵大佐 小住七五三
界聯隊區司令官
歩兵大佐 戸波辨次
近衛野砲兵聯隊長
砲兵大佐 安達十六
歩兵第四十一聯隊長
岡本元
臺灣軍參謀
砲兵大佐 浦澄江
歩兵第一聯隊長
歩兵大佐 渡久雄
歩兵第七十五聯隊長
歩兵大佐 池田信吉
深山重砲兵聯隊長
砲兵大佐 有田正秀
教育總監部第二課長
歩兵大佐 工藤義雄
陸軍航空本部補給部
各務ケ原支部長
航空兵大佐 [illegible]彦象
神戸聯隊區司令官
歩兵大佐 山口正熙
下志津陸軍飛行學校
教育部長航空兵大佐
江橋英次郎
第七師團參謀長
歩兵大佐 伊田常三郎
野砲兵第十聯隊長
砲兵大佐 谷口元治郎
歩兵第二十一聯隊長
歩兵大佐 荒川眞郷
歩兵第三十四聯隊長
歩兵大佐 佐枝義重
軍馬補充本部員
騎兵大佐 周藤歡一郎
廣島陸軍兵器支廠長
砲兵大佐 杉生巖
歩兵第三聯隊長
歩兵大佐 長屋尚作
陸軍省軍務局徴募課長
歩兵大佐 松村正員
陸地測量部地形科長
工兵大佐 水野泰治
任陸軍軍醫少將(各通)
第七師團軍醫部長
一等軍醫正 木下[illegible]
任軍獸醫監
陸軍獸醫學校教官
一等獸醫正 渡邊中
任獸醫監
△轉補
臺灣軍司令官
大將 阿部信行
軍事參議官
中將 松井石根
補軍事參議官
第十四師團長
中將 松木直亮
補臺灣軍司令官
參謀本部附被仰附
砲兵監中將 畑俊六
補第十四師團長(宇都宮)
工兵監中將 杉原美代太郎
補第七師團長(旭川)
陸軍野戰砲兵學校長
中將 入江仁太郎
補砲兵監
陸軍砲工學校長
中將 岩越恒一
補工兵監
工兵監部附
少將 佐村益雄
補陸軍工兵學校長
野砲戰兵學校教育部長
少將 伊東政喜
補陸軍野戰砲兵學校長
朝鮮軍參謀長
中將 兒玉友雄
補獨立第二守備隊司令官
(新設)
參謀本部總務部長
少將 梅津美治郎
參謀本部付被仰附
關東憲兵隊長
少將 橋本虎之助
補參謀本部總務部長
中華民國在勤帝國公使館
付武官
少將 田代皖一郎
補關東憲兵隊長
參謀本部第一部長
少將 永田鐵山
補歩兵第一旅團長
器本廠付
少將 磯谷廉介
補參謀本部第二部長
參謀本部第二課長
少將 小畑敏四郎
補近衛歩兵第一旅團長
近衛歩兵第一旅團長
少將 松田巻平
補第十一師團司令部附
陸軍通信學校長
少將 山田乙三
補參謀本部第三部長
歩兵學校附
少將 篠塚義男
補習志野學校長(新設)
兵器本廠陸軍省
軍事調査委員長
少將 谷壽夫
補近衛歩兵第二旅團長
參謀本部附
少將 東條英機
兵器本廠附被仰附
(陸軍省軍事調査委員長)
陸軍省軍務局徴募課長
少將 松村正員
補歩兵第十九旅團長(京都)
陸軍大學校教官
少將 侯爵 前田利爲
補歩兵第二旅團長
兵器本省附陸軍省
新聞班長
歩兵大佐 本間雅晴
補歩兵第一聯隊長
陸軍省軍務局課員
歩兵中佐 鈴木貞一
兵器本廠附被仰附
(陸軍省新聞班長)
陸軍省整備局動員課長
砲兵大佐 侯爵 井上三郎
補陸軍技術本部附
關東軍司令部附
歩兵大佐 横山勇
補陸軍省動員課長
陸軍省軍務局兵務課長
歩兵大佐 塚田攻
補關東軍參謀
歩兵第五十九聯隊長
(宇都宮)
歩兵大佐 黒田重德
補陸軍省軍務局徴募課長
陸軍省軍務局兵務課
高級課員
歩兵中佐 村上啓作
任歩兵大佐補歩兵第卅四聯隊長
陸軍兵器本廠附
歩兵大佐 石原莞爾
補歩兵第四聯隊長
近衛歩兵第二聯隊附
歩兵中佐 松井太久郎
任歩兵大佐
補大阪聯隊區司令官
侍從武官兼軍事參議院幹事
歩兵大佐 阿南惟幾
補近衛歩兵第二聯隊長
參謀本部附
歩兵大佐 安井藤治
補參謀本部課長
東京警備司令部附
歩兵大佐 樋口季一郎
補歩兵第四十一聯隊長
(福山)
教育總監部課員
歩兵中佐 本多政[illegible]
任歩兵大佐
補歩兵第廿二聯隊長(松山)
△待命
第二師團長
中將 多門二郎
第七師團長
中將 佐藤子之助
近衛師團長
中將 鎌田彌彦
造兵廠大阪工廠長
中將 小柳津正藏
工兵學校長
中將 上村友兒
待命被仰附(各通)

哈爾濱附近 土地賣買に關する件制定理由書

哈爾濱大都市計畫の實施に就き思惑投資の土地買占めに依る一般地價の高騰を防止し其の都市計畫遂行を圓滑ならしむる趣旨に依る

教令第六四號
哈爾濱附近土地賣買に關する件

第一條 北滿特別區長官、哈爾濱特別市長及哈爾濱特別市隣接縣長は土地の賣買に付契約註册若は減有貸下地權利移讓の申請ありたる場合に於て該契約若は權利移讓が將來の哈爾濱都市計畫施行上著しき支障ありと認むるときは之か註册若は准許を拒否することを得

第二條 國又は哈爾濱特別市に於て將來の哈爾濱都市計畫に必要と認むる土地を買收せむとするときは其の土地の所有者は正當なる理由ある場合を除くの外之を拒むことを得す

第三條 前條の買收價格は大同二年二月二十八日以前の時價を基準として協定に依り之を定め協定調はさるときは民政部總長之を裁定す

第四條 本令の施行に必要なる規定は民政部總長之を定む

附則

學術調査團調査結果 滿洲國政府にも提出

滿蒙學術調査團德永博士一行十六名は本日午前九時軍及び大使館側に滿鐵總務部長各部長を訪問來京の挨拶を述べ十時鄭國務總理と會見した結果、一行は滿洲國政府囑託として研究を遂げ調査報告は滿洲國政府に提出すると共に調査に依つて得た感想及び將來の方針を具申する事となつた尚一行は正午ヤマトホテルに於ける小磯參謀長の招宴に臨んだが、明日は午前中執政を訪ね正午大陸巷に於ける鄭國務總理の招宴に臨み午後十時發列車で離京の豫定である

龍王廟祭のため 取引所休業

新京取引所は龍王廟祭に當り二三の兩日立會取引を休止する

本令は公布の日より之を施行す

敎令第六十五號

税關官制

第一條 税關は財政部總長の管理に屬し左の事務を掌る
一、關税、關税附加税、轉口税、噸税及税關諸收入の徴收に關する事項
二、保税倉庫其の他の保税區域に關する事項
三、輸出入、轉口及保税貨物の取締に關する事項
四、關税通路の取締に關する事項
五、船舶、航空機及車輛に關し前各號の執行の爲必要なる取締に關する事項
六、前各號の執行の爲必要なる施設に關する事項
七、關税、關税附加税、轉口税及噸税法規犯則者の處分に關する事項
八、關税の徴收と直接關係する港内取締に關する事項

第二條 左の地に税關を置く
大連、哈爾濱、安東、營口、龍井村、圖們、承德、山海關

第三條 各税關の管轄區域は財政部總長之を定む

第四條 各税關を通して左の職員を置く
税關長 八人 簡任若は薦任(但簡任は六人を超ゆることを得す)
副税關長 八人 簡任若は薦任(但簡任は二人を超ゆることを得す)
事務官 專任二十八人 薦任
鑑査官 專任三十八人 簡任若は薦任(但簡任は二人を超ゆることを得す)
監視官 專任十六人 薦任
事務官補 專任百七十五人 委任
鑑査官補 專任二百三十五人 委任
監視官補 專任六十五人 委任
監吏 專任四百人 委任
技士 專任二十二人 委任
手數料を徴して保税區域其の他關税上特殊の取扱を爲す場所に常時派出する税關官吏は之を定員外とす

第五條 税關長は財政部總長の指揮監督を承け税關の事務を掌理し部下の官吏を指揮監督す

第六條 副税關長は税關長を輔佐し税關長事故あるときは其の職務を代理す

第七條 事務官は上官の命を承け税關の事務を掌る

第八條 鑑査官は上官の命を承け貨物の檢査及鑑定に關する事務を掌る

第九條 監視官は上官の命を承け關税警察犯則處分並に港内の施設及取締に關する事務を掌る

第十條 事務官補は上官の指揮を承け庶務に從事す

第十一條 鑑査官補は上官の指揮を承け貨物の檢査及鑑定に關する事務に從事す

第十二條 監視官補は上官の指揮を承け關税警察犯則處分並に港内の施設及取締に關する事務に從事す

第十三條 監吏は上官の指揮を承け關税警察其の他の事務に服す

第十四條 技士は上官の指揮を承け技術に從事す

第十五條 税關の分科規程は財政部總長之を定む

第十六條 財政部總長は必要と認むる地に税關分卡を置くことを得

第十七條 税關分卡に税關分卡長を置き事務官又は事務官補を以て之に充つ

第十八條 税關分卡長は税關長の命を承け税關分卡の事務を掌る

第十九條 税關分卡の分科規程は財政部總長の認可を受けて税關長之を定む

第二十條 税關長は財政部總長の認可を受け必要と認むる地に税關分卡を置き税關の事務を分掌せしむることを得

附則

本令は公布の日より之を施行す

敎令第六十六號

舊海關職員にして海關接收以來引續き税關職員たる者の給與に關する件

舊海關職員にして海關接收以來引續き税關職員たる者の俸給其の他の給與に關しては分の内從前の例による

附則

本令は公布の日より施行す

右制定の理由

税關接收當時從來より在職せる海關官吏に對しては接收後と雖も以前の待遇を低下する事なしとの聲明を財政部總長の名によつて發表した然るに今回海關改制が制定されて在外官吏俸給令によつて俸給を支給される事となれば接收以前より在職せるものは減俸さるる事となるを以て先の聲明を尊重して本舊令を以て俸給を從前の如く決定したものである

新京區公示第一二號
新京區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章
新京區 昭和八年十月一日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

(譯文)
新京區公示第一二號
新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章
左開
新京區 昭和八年十月一日
但依時宜得將選擧日期延長之

范家屯區公示第八號
范家屯區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章
范家屯 昭和八年十月三日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

(譯文)
范家屯區公示第八號
范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章
左開
范家屯 昭和八年十月三日
但依時宜得將選擧日期延長之

滿洲語 第二期研究員募集
一、資格 一期 初學ノ方 二期 簡易支那語ヲ解得スル者
一、教材 一期 簡易支那語會話篇(外四聲及支那注音符號) 二期 急就篇
一、時間 自午後七時半 九時半迄
一、開講日 八月四日(申込八月三日迄)
一、期間 四ケ月
一、研究料 拾圓(壹期四ケ月分)
尚本人ノ希望ニヨリ各組隨時入社シ得
新京東二條通四三番地
滿洲語學研究社

全滿各地から性病撲滅運動

各機關を包含性病豫防協會を設置することに決定

性病患者は全滿各地ともに非常に多くこれが根治方法につき新京、撫順、奉天鞍山、大連、吉林の各滿鐵病院皮膚科醫長が協議を重ねた結果、軍司令部並に關東廳の者屡で滿洲性病豫防協會を組織し性病の豫防に努めることになつた、同發會式は九月ごろになる模樣である同協會組織方法は性病院を設置し施療患者として收容治療をなすものである

新京の性病患者

本年に入り新患者が二千餘名　ますく殖えてゆく

新京の人口の激增にともない惡性な性病患者の數が並行的に增加し一大脅威を見せてゐる、今七月中における滿鐵病院皮膚科の總患者數＝新患者として性病患者は延人員三千百五十五名この内新患者＝は三百八十五名の多きに達してゐる

本年一月以後七月末日迄の新患者は二千四十二名で本年中には三千五百名以上に達するものと云はれてゐる、昨年に比すると約一千二百の增加でなほ一昨年事變前に比すると二倍に達してゐる

治安の恢復で

目醒しい發展を遂げた熱河省の交通網

熱河省内治安の著しい恢復に伴ひ交通機關も漸次完備し即ち

『鐵道』は錦州、義州、北票並びに扣北營子、朝陽間は既に開通して居り北票承德間は近く平泉迄開通する模樣である

自動車は從來華山鐵路局經營のバスが北票、平泉間の旅客輸送をなしてゐたが、更に去る七月廿日より平泉、承德間の營業運轉を開始し、永らく懸案の北票承德間の旅客輸送は完成するに至つた、更に奉天鐵路局では省民の要望により朝陽、赤峰間九十一哩のバス計畫をなし目下着々道路修繕中で取敢へずトラック卅臺の用意をなした、尙ほ今回滿洲國では承德より長城線の古戰場古北口を經て北平に至るバス路を認可した

『之に』より北票、朝陽、凌源平泉、承德間百九十三哩承德古北口、北平間百十哩及び朝陽、赤峰間九十一哩總計三百九十四哩の自動車路も完成する譯である

學徒研究團 各班新京着發時間

なほ一行今後新京着發時間は左の通りである

△八月二日前　六、四〇　法文經商B班　奉天より（室町小學校宿泊）

斑　公主嶺へ

△八月四日後　四、〇〇　A班　吉林より（商業學校宿泊）

△八月五日前　八、四〇　同班哈爾賓へ

後　三、二五　B班　哈爾賓より（室町小學校宿泊）

同　三、三五　農科班　公主嶺より（西廣場小學校宿泊）

後　三、三五　工科班　哈爾賓より

仝　四、三〇　同　四平街へ

△八月三日前　六、四〇　法文經商A班　奉天より

仝　八、三〇　同班　吉林へ

同　八、四〇　法文經商B班　哈爾賓へ

後　三、二五　農科班　哈爾賓より（西廣場小學校宿泊）

△八月四日前　九、五〇　仝

△八月六日前　九、〇〇　農科班　B班　吉林へ

△八月七日後　三、二五　A班　哈爾賓より

同　三、三五　工科班　奉天より

同　四、〇〇　B班　吉林より

同　四、四五　農科班　吉林より

八月に入つて

滿博の入場者激增

（大連一日發國通）七月廿三日より開會した大連市催滿洲博覽會は雨天其他の事故の爲各館の

『準備』に多大の支障を來し、入場者は意外に尠く博覽會當局者の頭痛の種であつたが今明八日を經過して場内施設も殆んど完成し未完成の分は餘す處建築館、貿易館、第三號館其他各府縣特設館の一、二を殘すのみとなつたので今三十日より入場者も漸く增加したが博覽會當局では觀覽者の吸收に大童の活動を續けてゐる、又滿洲國側においても此の絕好の機會を捉へて日本の文化を滿洲國人に宣傳すべく總務廳情報處、文敎部、實業部、協和會、國都建設局等聯合にて滿洲國中央委員會辦事處を博覽會事務局内に設置したが情報處松澤庶務課長、國都建設局森事務官等は三十日朝打連れて

『來連』事務局當局と種々打合せを行つたが十五日には盛大に滿洲國デーを催しメツセージの交換、滿洲國軍樂隊の演奏ラヂオ放送等を行ふ事となつてゐる、又滿洲國人の入場者も日々增加し八月六日に奉天驛主催の觀光團六百名の大團體を魁として情報處主催の觀光團も八月七日第一班二百名を最初として八月二十五日迄に第七班まで約一千五百名來連する事になつて居る、一昨日來連した新京滿洲國記者團高彭年氏以下一行六名も三日間に亘り詳さに會場を觀察し三十一日午前九時發「はと」で歸京した、日本内地並に朝鮮方面よりの觀光團も

『逐日』增加しつつあり大連全市の博覽會裝飾と相俟つて博覽會氣分は橫溢して來た

五、一五事件

海軍側被告公判　中村中尉の陳述

（東京卅一日發國通）五、一五事件海軍側被告公判は午前九時七分より開廷したが、中村中尉は左の如き陳述をなした

昭和七年三月二十六日茨城新潟長野の農民軍長長野朗を訪問し陸海軍有志と呼應して農民軍の蹶起を依賴し大川周明博士にも同樣依賴した、更に四月二日長野朗に第一次計畫を說明し、總理官邸、内府邸、工業倶樂部、日本倶樂部の警備狀況暗殺目標の動靜偵察を依賴したが、長野朗は請願運動はするが、テロ參加は決定出來ぬと答へたので農民軍との提携を斷念した

と述べ次で決行當日の模樣を陳述し午後二時五十五分閉廷した

慰問品を送り

佳木斯移民團を激勵

新京地方事務所で慰問品募集

滿洲開拓の先驅者として北滿の奥地に活躍しつつある佳木斯移民團を激勵慰問するため今回新京地方事務所では協議の結果新京時局後援會長の名において左記方法に依り慰問品を募集することとなつた

一、締切　八月十五日限り

一、慰問品　古着類（大人男子用）シャツ、ヅボン、袢服、浴衣、寢卷、その他又は慰問袋

一、取纏め方法

イ、締切までに新京地方事務所社會係、新京警察署警務係及聯合婦人會の左記幹事宅へ持參のこと

赤木洋行、濱田醫院、下島商會、青木鐵道事務所長、荒木地方事務所長

ロ、聯合婦人會幹事各戸訪問

ハ、金員寄附の場合は聯合婦人會にて適宜品物に代え送附する

一、發送方法

拓務省新京出張所にて發送

盛夏三題

……何か適切な銷夏法は？　各方面に聽く（6）

お尋ね

一、今年の夏はどうしてお暮し遊ばされますか

二、避暑地にはどこが一番よいでせうか

三、何か適切な銷夏法はないものでせうか

參議府議長
軍政部總長　張景惠氏

一、不去旅行、住新京

二、避暑地以北滿線之松花江札賚諾爾等多山林近河水之地爲佳

三、最適宜銷夏、晚散步、午眠、靜坐等

○

最高檢察廳長　李槃

建庭之始公務繁多不克他往故無避暑旅行之意特沒

○

滿鐵社會主事　野村茂理氏

一、旅行は大そうすきなんですが忙しくて何處にも行けません、今年の夏は新京で朗かに働いて暮します

二、暇があつて避暑の出來る人は幸せです、私だつたら七月末から八月なかばにかけての三週間ばかりを母のゐる大連の近郊夏家河子に選ぶでせう、自分と妻と、今年二つになる一人息子守坊の健康のためにです、家族連れで比較的安價にのんびりと、あまり淋しくもなく、俗々しくもなく、自然の中にとけ込んで何等の危險を感ぜずに海水浴の出來るのは夏家河子が一番です

三、私のやうにさまつた暇と金とがなくて旅行の出來ない、避暑もむづかしい人はさしあたり社會係の世話をする色々な催物を見たり利用したりするのが一番適切且つ大衆向き有益な銷夏法でせう、スポーツ、講演、修養會、音樂、映畫、見學等々なかなか面白いです

○

高野山金剛寺　和光中道師

一、普通四季變りなき生活をします、他に家を求めて四季の生活の要はありません

二、自分の宅で充分です、暑さを他に求めず自宅の涼を以て避暑以上としてゐます

三、中產生活が最適です

○

滿洲電氣支店長　原口純允氏

一、滿洲事變後の吾滿電は滿洲の電氣事業界の一エポックを劃する多事多端な折、小生は旅行とか避暑とか考へる余裕とへありません、要するに小生は與へられたる仕事に熱中することが酷暑に於ける唯一の銷夏法ではないかと思ふのであります、避暑とか旅行とかはブルジョアーか一部有閑階級の如何にしてその日を送るかに苦心してゐる連中のする事ではありますまいか、呵々

○

第四區長　田中卓二氏

一、商賣柄夏の行樂に惠まれず商戰場裡に汗ダクダクです

二、……まづ大連と思ひます

三、一の答が又唯一の銷夏法です

○

新京署保安主任
警部　井之上理吉氏

一、切變らず警備に當つてゐます

二、滿洲では星ケ浦

三、何かに夢中になつて勉强する事です

○

鐵道事務所庶務長　中山恕世氏

一、避暑旅行の暇もありません

二、海、山、何れも好きくなれど滿洲ではやはり星ケ浦でせう

三、業務三昧に沒入し暑熱を忘れることでせう

○

新京署執行主任　中島菊平氏

一、職業柄一寸も暇はありません、西公園散步位が關の山です

二、行くとするなら熊岳城や星ケ浦が好いと思ひます

三、柔劍道で汗を出すのもよい銷夏法と思ひます

奈良法隆寺

十ケ年計畫で修理に決定

（東京發）世界最古の木造建築として我國寶中のピカ一奈良法隆寺は金堂、宙門、五重の塔などの如く千三百年を經た古い建物もあつて屋根、柱壁などが腐敗しかけ雨洩りさえ出來之れまで屢々其の修理保存の叫び擧げられてゐたが愈々今度文部省、奈良縣、聖德太子奉贊會が協力して總工費百七十五萬圓を投じ十ケ年計劃で我國最初の大規模な修理を爲すことに決定、文部省では十九萬二千圓を補助すべく、來年度豫算に計上することとなつた特に此の大修理は三百年間の保存請台ひと云ふ根本修理を行ふため建物を解體して内部構造を調査する結果二十數年間學界を賑はして來た建立年代を繞る關野貞、貴田貞吉兩博士の論爭も此の修理に依つて解決されるものと學界では非常に興味を以つて期待されて居り法隆寺は各時代々々に增築修理されてゐるので其の建築樣式は推古、平安鎌倉、室町、德川各時代を網羅し之が修理保存は日本建築全體の保存として注目されてゐる

蠅ホテルと蠅投網を發明

無料で各方面に公開した　荻山熊吉氏の陰德

市内老松町七番地の二號荻山熊吉氏は蠅驅除に關し十余年間苦心研究の結果、今回蠅ホテル及蠅投網の二種を考案、實驗の結果豫期以上の效果を認めたので自費をもつてその構造效用を認め無料で各方面に配布し、蠅驅除に力を注いでゐる（構造圖等は同氏に需むれば無料數示される由）

×　　×

石碑嶺に馬賊

驢馬三頭掠奪逃走

石碑嶺炭坑附屬地才連金方へ卅日午後十時ごろ拳銃長銃を所持した馬賊五名が襲擊し開門を迫つたが應ぜなかつたため賊はやむなく戸外に繫いであつた驢馬三頭掠奪逃走した

愈よ今夕六時から萬歲の捨丸開演

本紙讀者優待納涼の夕の催　割引券を御利用あれ

本紙愛讀者のために特に大衆向料金に一等席一圓五十錢を一圓に割引せしめた砂川捨丸の大一座はいよく今二日午後六時から長春座で

『開演』する、極めて短期の興行で二日三日の兩夜に限られ絕對日延べなしとなつてゐるから昨夕本紙に折込んだ優待割引券を利用されたい、萬歲もいろく來るがピンから切まであることは勿論今度の一座はコロンビアレコードでお馴染みの同社專屬の人氣男砂川捨丸を中心に東西斯界の花形砂川一二三、同信の家、桂枝二、橘家久榮、同橘彌、玉の家圓太郎、同壽美花、砂川政奴、同捨若、森水チヨコレート德川千代香、砂川愛之助、河内家新之助、砂州捨千代、桂枝、中村梅代などつぶ撰り、ハーモニカ曲奏の上林幸夫、同女ヘ子、美術紙切りの柳家春郞と同和子、更らに華やかな美形連、藤間流の舞踊には藤間靜子、同小琴、同敏子、同メ子、同政子、同小玉が鮮かなところを見せるこさゝなつてゐる捨丸來たの豫告以來俄かに前景氣がすばらしく團體入場の

『申込』みが相踵いでゐる模樣であるからなるべく早く入場しないさいと座席を占め損ずるやうになるであらう

遼陽鐵嶺から奉天へ買物列車が出る

二日から實施

（奉天一日發國通）納涼列車と共に滿鐵で計畫された遼陽及鐵嶺方面からの買物列車が愈々二日から實施されるがその着時間は左の通りである

△遼陽方面より

奉天着　午後六時三十分

奉天發　午後八時四十五分

△鐵嶺方面より

奉天着　午後六時五十分

奉天發　午後九時二十分

本列車は兩方面沿線の人々に多大の便宜を與ふべく又奉天の夜店も相當賑ひを呈するものと期待されてゐる

三日は

土用二の丑

明三日は土用の二の丑の日にあたるので市中の鰻料理をやる店はかば燒に丼に又も吸物をと注文殺倒で忙しいことであらう

天氣と氣溫

けふの天氣雨寄りの風曇り時々驟雨模樣一日の氣溫最高二十八度一最低二十度一

新京醫院の庶務長更迭

今西氏本社へ

滿鐵新京醫院庶務長今西莞爾氏は此度本社人事課に榮轉しその後任に哈爾賓醫院庶務長入江理氏が近く來任することになつた

今西氏は滿鐵衞生畑で在任凡そ八箇年、一昨年末衞生研究所から轉任して來た人で事變後入院外來とも患者頓に激增し、目の廻る忙しさの中に、よく塚本院長を助けて今日に至つた人で來る六日ごろ赴任のはずである

吉凶禍福

△新京常盤町三丁目孫世紀宅十二號備詰道治氏長男健一さん、二十六日出生

△新京三笠町七丁目二馬淵右衞門氏二女洋子さん、十六日出生

△新京永樂町三丁目五藤井哲氏の甥剛さん、二十九日午前零時五分死去

萬歲界の花形一團を率ひて伺ひました、笑つてアゴをはづしたり、おへその宿替へをせぬやりしつかう御用意の上御來場下さい是非どうぞ！

愈々今夜から長春座で　捨丸

お料理　仕出し　すし　うなぎ丼　うなぎ蒲燒　酒の安樂　取次電話四七四〇番

食道樂開店御披露

氣持のよいお座敷、おいしい和洋料理、ホールでは簡易に安價の御食事も調進致します、どうぞ御最負お引立をお願申上げます

新京大和通五一（レストラン箱根前）
和洋料理　食道樂　はまや

滿洲國軍政部測量課發行

滿洲國地圖

定價
五萬分一　十五錢
十萬分一　十五錢
二十萬分一　十五錢
五十萬分一　二十錢

各地代理店募集面談又は書面交捗

新京吉野町一丁目廿四
元賣捌店　森野商店
電話二一五一番

本日勝手ながら臨時休業仕候
八月二日
AMAGURI-TARO
甘栗太郎

森永ミルクキャラメル
よい菓子を安心して買へる店

黎明の通遼（下）
東蒙の寶庫は我等を招く

＝産業＝ 東蒙が産する各種の産物は到る處に滿ち充ちて居るが邦人としては現在の處只一指を染めた程度にも達して居ないしかし漸次活潑なる氣運の現出は明すべきものがある水田經營としては通遼鮮人會事務所内に本據に置き清河流域五道灣及瓦房の二農場に働く鮮人百五十五戸二百三十四人がある外著名のものなく大倉組蒙興農場は事變以來放置の儘となつて居る、秩序整ふに從ひ到る處黄金の波打つも遠くはあるまい

＝旅館＝ 開拓者にとつて無くてはならぬものの一つの旅館は四洮鐵路局陸軍興安省警備軍並に諸官衙指定の通遼ホテルと、日本旅館大和旅館白首太來旅館等があり十二分の設備を整へつつある娛樂機關としては電燈廠構内に同廠代表者奥野氏が努力の賜たる大庭園があり邦人の爲めに開放して居る外何等の設備も見出すことは出來ぬ

＝日語＝ 熱頗る旺盛 城內居住滿人の日語研究熱今最高潮に達して居る縣立日語學校を除く他の講習會數ケ所に開設され四洮鐵路通遼驛では瓦房店車區から派遣の驛務指導中の柴田氏外滿人二名教師として晝夜二回孜々として勉めて居る學徒の數は數百を算して居る

＝其他＝ 開拓の先驅者として殺到した美人群は藝酌婦四十八人女給三十人在住一般邦人の三分の一に垂んとする、數字でサービス滿點の點は他では見られぬものがあるとして人氣を呼んでゐる

とにかく通遼の近況は前記の狀態であつて安業樂居の繪圖其のものである

× × ×

我等の飛躍を待つ東蒙の天地は今し、此處通遼の市街から黎明の鐘は鳴り渡つて居る學徒研究團の通遼來を目前にして我等は敢て此處通遼の市街から東蒙開拓の指令の鐘はけたたましく鳴ると稱するものである

土用に暑ければ何故豐年か
氣象と農作物との關係

□ 暑中は九夏三伏の候といふ、九夏は夏九十日也と說く、一年三百六十日（舊曆）を四季に分つて各季九十日となる意味である、三伏は三庚閉日ともいふ、庚は金のことで金は火を畏る、暑中金氣が伏藏する意義であると說かれて居る夏至の後第三の庚の日を初伏第四の庚の日を中伏といふ、中伏の後に立秋が來る、それで立秋の後最初の庚の日を末伏といふ、庚の日は十日毎にあるので、初伏から末伏まで土用前後の最高氣温の時期に庚の日を三回として三伏としたのである

昔は自然現象を木火土金水の五行にちなんで說明した、之は寧ろ常識的關係を表して居るが、とに角之を原則として、春は木、夏は火、秋は金、冬は水として土は中央に位するとした、それで一年を四季各九十日を五分した、十八日を土用とした尤も一年三百六十五日余の四分の一は九十一日余その五分の一は十八日三分余となるので、土用十八日三分余となるので、土用十八日、時に十九日土用といふも實は十八日三分なりと說いてある

十九日土用といふのは端數の三分が跨つた日を入れて十九日とし、十八日は端數を切捨てた意味である、即ち土用は一年に四回、立春、立夏、立秋、立冬の前の十八日（又は十九日）を土用といひ、土用の終りが立春、立夏、立秋立冬となるから、舊曆の正月三月、六月、九月に土用があるが、土は中央に位するとして一年中の中央である夏の土用を正とした、現在でも土用といへば夏のことと思はれて居るが、現行の太陽曆でも雜節として冬の土用と夏の土用とを二回掲げてある

□ 北半球の各地では、夏至の頃が太陽から地上の單位面積に受ける熱量は最大となる譯であるが、氣温の最高はそれよりも遲れるので夏の土用前後が最高氣温となるのである土用に入つて三日目を俗に土用三節といひ、この日に天氣が惡いと土用中の日和よろしからずと傳へられて居るが之は無稽のことではある、然し土用の初め頃は順候ならば晴天續きで暑い筈であるから統計的には意味がある、土用中晴天續けば五穀豐年なり、永雨は惡し、夕立はよしとか六月（舊）暑氣薄ければ五穀よろしからずと昔から說かれて居るが、之等は今日の統計でもその通りである

數年前迄は旱魃の時に米の凶作を豫想した問題が新聞や雜誌の紙上を賑はして居つたが本邦の米作地は濕地が多いので、旱魃被害の地域は比較的面積が僅かで旱魃問題が起る位の晴天續きの年が全体としては反つて豐年なのである

□ 寒暑は年によつて早く來たり遲れたり周期的に變化する五六年前に七八月の暑氣が嚴しく豐作續きであつたが爾三年前から比較的不作が續いたそろそろ又夏暑くて豐作になる時期に廻る筈であるが、この週り變りに當る年は時候はづれの不順な寒暖變化を伴ふことを免れぬ

投書欄
苦力市に迷惑する

電話局前廣場の苦力は何とかなりませんか早朝から苦力市がたちその騷がしさはあの附近に住む者皆が迷惑して居ります、苦力市でアブれた輩は木陰にゴロゴロ睡る奴あり虱を狩る奴あり滿洲國の首都新京の眞只中に奇ッ怪な風景を描出してゐます彼等は夜は鮮銀、電話局などの階段に寢て夜明け前の苦力市の始まるのを待ち其間、處きらはず放尿放屎するやら甜瓜の皮を散らすやら全く困つたものです非衛生不体裁ばかりでなく首都の耻辱です（新京生）

海の外から

□十月の國際衛生委員會議 第八回衛生材料規格統一國際委員會議は本年十月ジユネーヴに於て開催されることになつたが、日本からは目下獨逸駐在の陸軍一等軍醫、石川元雄氏が列席することに決定した

□トルコ國の赤新月社 トルコ國には此の程赤新月社と稱する愛國團体が出現したが、之は過去二ケ年間に亘つて調査研究し萬國赤十字社の本質を其の儘機構とし近く赤十字社聯盟に加入して國際の一機關とする筈

□本年度の日赤分配金 本年度赤十字社國際委員會經營各國分配額は去る二十日佛國に於て審査を經瑞西貨一萬法は近く日本赤十字社本部宛送金のことに決した

□自動式預金函 米國のブルツクリン銀行には此の程世にも稀な自動預金函が出來上り目下盛に好奇と正確さで近郷の人氣を集めてゐる、此の預金函は貨幣を入れるや日附、金額等を明記した領收書が自動的に發行され預金者は右領收書にサインだけして預金係に提示すれば完全に預金行爲を果すことが出來ると謂ふ主客共に手數が省けて至極便利なもの

□米國の海貝採取熱 米國西部海岸地方では海貝を加工して裝飾品を造る者が漸增の有樣であるが、收入多く地方に依つては副業として有望なので、海貝採取熱は目下いやが上にも高まつてゐる

新刊紹介

△滿蒙評論（八月號）卷頭言に泥縄式の官有地貸下料の增額案支那を統一せんとする青幫の在家裡が滿洲に政治的活動を始めた末光高峯亞細亞民族團結せよ鳥海最上、門外から物を觀る高橋懿夫、滿日大連の比較寄村、滿鐵の影の考察光人生、銷夏のページ、まもの噂、美濃町情痴集その他一部金九十錢大連市榮町二滿蒙評論社

△海（三十五號）大阪商船株式會社の宣傳冊子、滿洲國展望海の感傷・初夏滿洲點描、西貢の話、ノカリビアン海を語る、その他の記事に美事な寫眞版多數挿入非賣品同社で頒つ

ラヂオ欄

二日（水）新京

奉天前	一一、〇五	講演	
	一一、四〇	滿洲文化史	奉天圖書館長 衛藤利夫
奉天後	四、〇〇	レコード	相場
新京後	四、三〇	演藝	商業通信社
同 後	五、〇〇	講演	改正されたる關税に就て 滿洲國協和會員 王敬齊
同 後	五、三〇	ニユース	滿洲語
東京後	六、〇〇	ニユース	東京中央放送局編輯
新京後	六、二〇	語學講座	（滿洲語）講師 高宮盛逸
	六、四〇	同	（日本語）同 植松金枝
同 後	七、〇〇	ニユース	英語
同 後	七、一〇	ニユース	露西亞語
同 後	七、二〇	ニユース	朝鮮語
同 後	七、三〇	ニユース	氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
新京後	八、〇〇	演藝	
東京後	八、三〇	時報	
同 後	八、三一	ニユース	東京中央放送局編輯

鮮魚小賣相場

活鯛	一一〇	小鯛	五二
ニベ	二六	ヒラス	四四
サハラ	五二	スズキ	二七
サバ	一四	アジ	二六
カレイ	二六	ヒラメ	二六
ボラ	三一	コノシロ	三〇
マナカツオ	四五	トビウオ	二〇
ハゼ	三二	メバル	二一
グチ	一四	フカ	一七
タコ	四八	小イカ	二一
イセエビ	一一五	車エビ	一一五
コエビ	五一	カニ	二〇
アナゴ	二六	アワビ	一〇〇
ハマグリ	一〇	カマボコ	三〇
チクワ	一〇	シイラ	二〇
ヤズ	三二	舌	二六
ウナギ	二〇		

印刷機械及材料 各種印刷と製本 卸小賣 北原紙店 電話 三二四一 三四〇一 七三九

株式會社 正隆銀行 本店大連

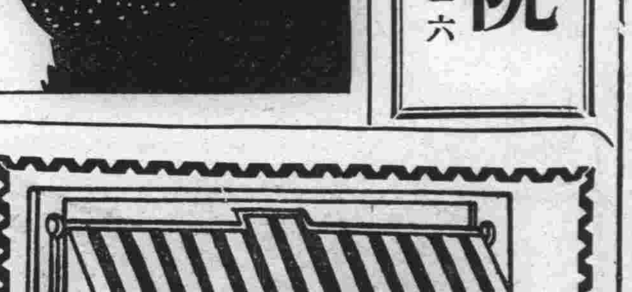
東省實業株式會社駐在所 新京日本橋通 電話二五八五番（三一三八番）

御料理 開花 電二六三二・二〇三〇番

知識眼科醫院 新京三笠町四丁目一六

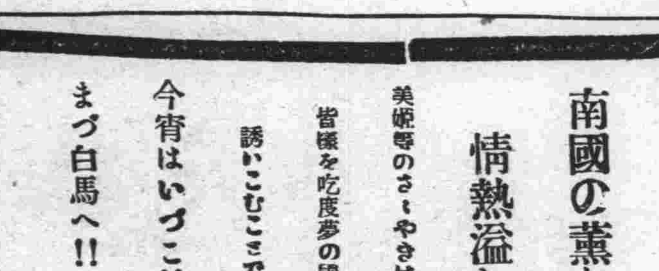
三井茶園製 國產 日東紅茶 市內各食料雜貨店にあり

和洋雜貨なら 新京銀座の中央街 廣春洋行へ 一文字帽、小供服豐富 新京銀座（吉野町二丁目） 和洋雜貨商 廣春洋行 電話三〇五二番 新京輸入組合加盟店


旗、幕、一式製作 裝飾材料と造花 丸二商會假營業所 新京三笠町四丁目十一 東公園內 電話二四五三番

富士屋タクシーノ特徵
（一）富士屋タクシーハ新車揃ヒニテ加フルニ最近一九三三年製最新式自動車ヲ數台購入乘心地ヨキコト此上ナシ
（二）運轉手ハ全部日本內地人ニテ關東廳免許證ヲ有シ技術優秀ナル者ノミ故、最モ大切ナル身體ノ輸送ヲ安心シテ托セルコト
（三）地理不案內、言語不通等ノ不便ナキコト
（四）優秀ナル運轉手十數名居リ晝夜何時ニテモ御用命ニ應ジ得ル準備アリ
（五）從業員一同、迅速、親切、丁寧ヲ『モツトー』トナシ奉仕スルコト
何卒ドシドシ御用命ノ程願上マス
電話二〇九七番 富士屋タクシー

ガソリン販賣廣告
危險ナル（ガソリン）ヲ車庫ニ貯藏シ心配スルヨリ何時デモ必要ニ應ジ機嫌ヨク供給スル「ガソリンスタンド」ガ亞細亞ノ赤具ヲ充滿シテ運轉手樣ノ御出ヲ待ツテ居リマス
一ガロン 一圓十錢
各位
新京中央通五番地 富士屋ガソリン販賣部 電話二〇九七番

南國の薫り高き 情熱溢れる美の殿堂!!
美姫等のささやきは 皆様を陀魔夢の國へ 誘いこむことでせう……
今宵はいざこ!! まづ白馬へ!!


富士町二丁目十五（みくに通り）

幾多黒船往來

禁轉載上演　（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百十八回

溺れぬ人（三）

『おゝ、おぬしは！』

助けあげて、ほつと一と息ついた白軒は、同時に驚きの叫びをあげた。

フランス水兵だとのみ信じてゐたその男は、紅毛でも、鷲鼻でも、獸肉臭い肌の持主でもなく、身にだんぶくろ服を着けてをれど、まさしく日本人である。

『おぬしは！』

虫の息なる男の肩に手をかけ、白軒は星明りにその顔をのぞき込んだが、がつくり頭をたれたまゝ顔を見せない。

『こりや』

こんどは、おとがひに手をかけ無理にも顔をあげ、のぞき込んだ白軒は、みたび驚きのさけびをあげた。

『おゝ、おぬしだつたか！』

そのまゝ助け上げた男を胴の間に突放した。

『おや、誰です』

フラメは見とがめた。

『とんだ人間をたすけたのさ』

『誰です』

『おまへやおれにとつては香ばしくない奴さ。ふかの餌食にでもなればよい奴さ』

白軒は、吐き棄てるやうにいつた。

『たから、誰です』

ニゴリナイの鍛冶小屋を襲ふておまへを辛き目にあはした磯貝なにがしといふ男さ。高島番所を脱けたとき、まつさきに追つかけて來た腕つ節の強い侍さ』

『まア』

彼女もふたゝび呆然とした。

『こんな男なら助けるではなかつた。フラメ、おまへのいふなりに舟を進めるのだつたのう』

『でも』

『なに？』

『でも、その磯貝といふ侍が、どうして佛蘭西水兵のだんぶくろ服を着てゐるのでしよし』

『うむ』

『だんぶくろ服着て眞夜中、海におぼれてゐるのか妙ですねえ』

『なるほど考へてみると、これには何か深い理由がありさうだ。よし、フラメ』

『あい』

『ふかの餌食にしやうと思つたが、これは一番助けて仔細をたゞすが上分別だのう』

白軒は思はず膝頭をたゝいた。

『そんなこと知りません』

『なるほど、おまへには何の拘りもないことかもしれぬが、このおれには又と得難い大發見だ。フラメ、一刻もはやくふねを進めてくれ。余市の湯ノ川まで往かぬともよい。手近なところへふねを着けてくれ』

『でも、高島の海は恐ろしいてしよう』

『なアに東風泊あたりまでゆくと大丈夫だ』

白軒は、いつたん胴の間に投げ出したひん死の武七郎にふたゝび近寄り抱き上げてその名をよんだ。

『おーい、磯貝、磯貝どの』

が、洋采和魂の武七郎はぐつたりとなつたまゝである。

『こりや、磯貝！しつかりせい。おのれは助けられたのだぞ。しつかりせい』

傍のカチウド老人も白軒に手を貸した。

『おゝ、未だ體が暖かい。この人生きかへります』

老人は確信ありげにさけんだ。

山惡族生する祝津（その頃北方探検家達が金鑛埋藏するところとして注目してをつたところ）をわざと避け、暗礁の多いカバルシといふ磯へ、暗夜たくみに舟をつけた、フラメの腕前を、白軒は決して見のがしはしなかつた。

ことに、東風泊や祝津の人眼を避けやうとする彼女の細心な氣の配りをひそかに感謝した。

銘酒 月ヶ瀬
醸造元 森川新京支店
曙町二丁目
電話三八〇八番

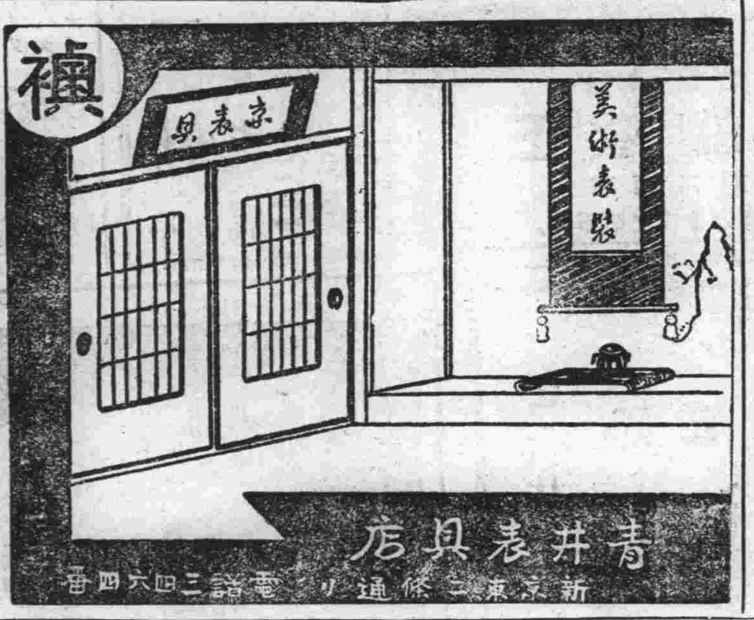
新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

待望出現
文字ヨリモ繪ノ時代
コノ書報ハ！
▲日滿人の必携手鑑
▲大滿洲國の實情認識容易
▲政治、軍事、社會、宣化、經濟、風物等網羅
▲滿洲としての相應しき贈物、土産物
日滿兩文説明入
滿洲國畫報
定價五十錢
發行所 情報機關 滿洲國情報社
新京中央通四八（西公園前） 電話四九八三番
滿洲國政府
滿洲國協和會
滿鐵官公署
後援
發賣所
新京日本橋通 林洋行
新京中央通り 大阪屋號書店
新京日本橋通 新京百貨店
新京日本橋通 金泰洋行
新京吉野町 森野商店
吉野町一丁目 天一堂

開催日
七月三十日（日）
三十一日（月）
八月一日（火）
五日（土）
六日（日）
七日（月）
毎日午前十時半開始
博覧會記念大競馬
常盤橋・甘井子・金州・旅順ヨリ星ケ浦競馬場マデ乘合自動車ノ割引アリ
勝馬投票券 單勝式 各金五圓 複勝式 各金貳拾圓
景品附入場券（毎日各競走毎ニ發賣） 金壹圓
社團法人 大連競馬俱樂部
電三二五三番

民刑事訴訟事件
法律顧問及鑑定
貸地貸家の管理
諸契約書の作成
辯護士
黑田實法律事務所
新京ビルヂング二階十九號

診療受付 正午より午後三時まで
内科 小兒科
杏林堂醫院
中島信之
内科、小兒科 醫師 堂脇サト子
電話二五二〇番
隨時往診の需に應ず



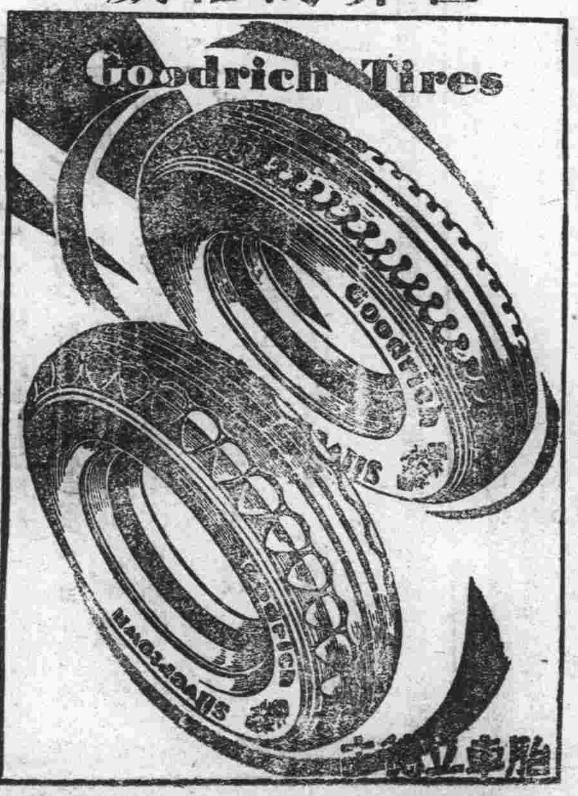
花も實もある
ライオンカフェー
ホガラカなホール
美人揃ひのウエータ連のサービス振りを御覧下さい
三笠町二丁目 電話二三七九番

床廻材料
ベニヤ板
天井板銘木
椽甲板雜作材
ベニヤドアー・製圖板
家具建具材・室內裝飾
（在庫品豐富）
株式會社 吉川商會新京支店
營業所 新京中央通四六
電話二九一三番
本社 東京市深川區富岡町

御料理
菊本
富士町三丁目
電話四九二四
新裝をこらしたおちつきある涼しいお座敷!!

在庫豐富
古河電線
日本パイプ
松下配線器具
岩見照明器具
森式外燈
アサヒ電球
古河蓄電池
屋井乾電池
岡田乾電池
マツダ眞空管
新田ベルト
富士モーター
電氣の店
合資會社 和登洋行
日本橋通七十番地
電話長三二四番
滿電內外線工事指定商會
滿鐵鐵道事務所指定商會
國務院需用處指定工事店

世界的權威
優良國產
グッドリッチ、タイヤー



横濱護謨製造株式會社 總販賣店
新京八島通二十番地
昌和洋行支店
電話長二七六一番

新入荷品
ライカD型カメラ
ライカ望遠レンズ
ライカ廣角レンズ
ライカ用引伸機（ヴアロ井）
コダックナーゲルカメラ各種
新京銀座（吉野町）
乾寫眞館販賣部
電話二三九〇番